

【共通編】

1 電子納品運用ガイドライン(案)【測量編】の位置付け

1.1 一般事項

電子納品運用ガイドライン(案)【測量編】(以下、「測量ガイドライン」という。)は、測量成果電子納品要領(案)(以下、「測量要領」という。)に従って測量成果の電子納品を実施する際に対象範囲、適用基準類、受注者及び発注者が留意すべき事項などを示したものです。¹

CALS/ECでは、関係者間の情報交換・共有・連携を行うことにより、業務を効率化することが、主要な目的であると考えられます。この目的を達成するために「新しい業務のやり方」を模索し、従来の紙による情報のやり取りではできなかったことを、電子化することによって実現していくことを目指しています。

1.2 用語の定義

ア) 電子納品

電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果²を電子成果品として納品すること」をいいます。

イ) 電子成果品

電子成果品とは、「工事又は業務の共通仕様書等において規定される資料のうち、各電子納品要領(案)等³に基づいて作成した電子データ」を指します。

ウ) 電子媒体

このガイドラインでいう電子媒体とは、「電子成果品を格納したCD-R」を指します。

¹ 従来の事前協議ガイドラインは、国土交通省職員を対象として、発注者が留意すべき事項を示したものでしたが、測量ガイドラインでは、測量成果の電子納品を円滑に実施するため、発注者と受注者の両者を対象に事前協議、電子成果品の作成、検査等について示しています。また、従来の事前協議ガイドラインの内容についても本ガイドラインの構成に合わせて取り入れています。なお、事前協議ガイドラインは、測量ガイドラインの策定に伴ない、廃止します。

² 最終成果：測量では、成果品として納品される測量記録、測量成果及びその他の文章類を指します。

³ 電子納品要領(案)等：電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式の仕様等について記載したものです。

工事では「工事完成図書の電子納品要領(案)」「CAD製図基準(案)」「デジタル写真管理情報基準(案)」、業務では「土木設計業務等の電子納品要領(案)」「CAD製図基準(案)」「デジタル写真管理情報基準(案)」「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」「測量成果電子納品要領(案)」を指します。

1.3 電子納品の構成

業務成果として納品される電子成果品の構成は、図 1-1のとおりです。
各フォルダには、電子成果品として発注者に引き渡すものを格納します。
格納するファイルがないフォルダは、作成する必要がありません。

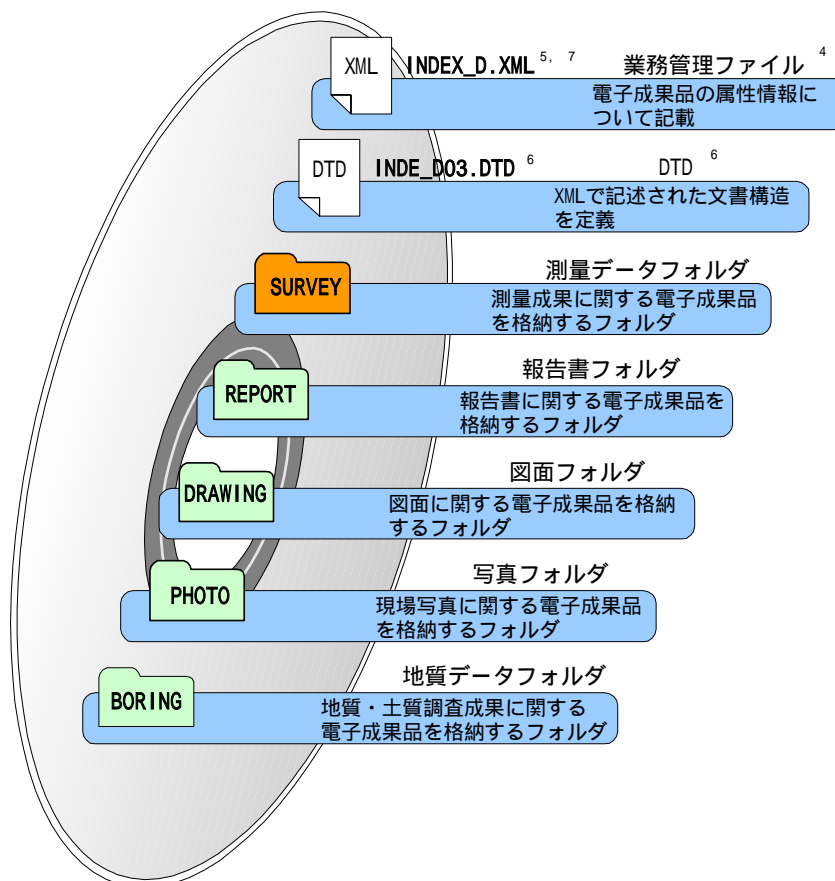


図 1-1 CD-R に格納される電子成果品のイメージ

⁴ 業務管理ファイル：業務の電子成果品を管理するためのファイル。データ記述言語として XML を採用しています。電子納品では、電子成果品の再利用時に内容を識別するために、業務に関する管理情報や報告書・図面等の管理情報を電子成果品の一部として納品することにしています。

⁵ XML：文書、データの意味及び構造を記述するためのデータ記述言語の一種です。

⁶ DTD：文書型定義。XML 等で文書を記述する際、タグを利用して、データの要素・属性、構造(見出し、段落等)を定義しています。管理ファイルと DTD は一組として格納します。

⁷ INDEX_D.XML は、INDE_D03.DTD とともに電子媒体のルートに格納します。

なお、「CALS/EC 電子納品に関する要領/基準」Web サイトには、DTD、XML 出力例があり、ファイルが取得できます。(URL : <http://www.nilim-ed.jp/calsec/dtdxml.htm>)

1.4 問い合わせ

電子納品に関する問い合わせがある場合は、事前に国土交通省国土技術政策総合研究所のWebサイト「CAL/EC 電子納品に関する要領・基準」のQ&Aページを確認します。ここには、これまでに寄せられた電子納品に関する質問への回答が掲載されています。

なお、Q&Aページから、電子納品Q&AのPDF版がダウンロードでき、初心者版も準備されていますのでご活用ください。

ア) 「CAL/EC 電子納品に関する要領・基準」Webサイト

<http://www.nilim-ed.jp/>

イ) 「CAL/EC 電子納品に関する要領・基準」WebサイトQ&Aページ

http://www.nilim-ed.jp/qa_sys/admin/q_a_index.htm

Q&Aのページを見ても質問の回答が得られない場合の問い合わせ先は、次のとおりです。

ウ) 電子納品ヘルプデスク

http://www.nilim-ed.jp/qa_sys/admin/question.htm

エ) 地方整備局等技術管理課

各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局の電子納品関係の担当部署は、技術管理課となっています。

北海道開発局	http://www.hkd.ml it.go.jp/
東北地方整備局	http://www.thr.ml it.go.jp/
関東地方整備局	http://www.ktr.ml it.go.jp/kyoku/menu.htm
北陸地方整備局	http://www.hrr.ml it.go.jp/
中部地方整備局	http://www.cbr.ml it.go.jp/
近畿地方整備局	http://www.kkr.ml it.go.jp/
中国地方整備局	http://www.cgr.ml it.go.jp/
四国地方整備局	http://www.skr.ml it.go.jp/
九州地方整備局	http://www.qsr.ml it.go.jp/
沖縄総合事務局	http://www.ogb.go.jp/

1.5 測量ガイドラインに係わる規定類の関係

測量ガイドラインに係わる「電子納品に関する要領・基準(案)」等の関係を図 1-2 に示します。

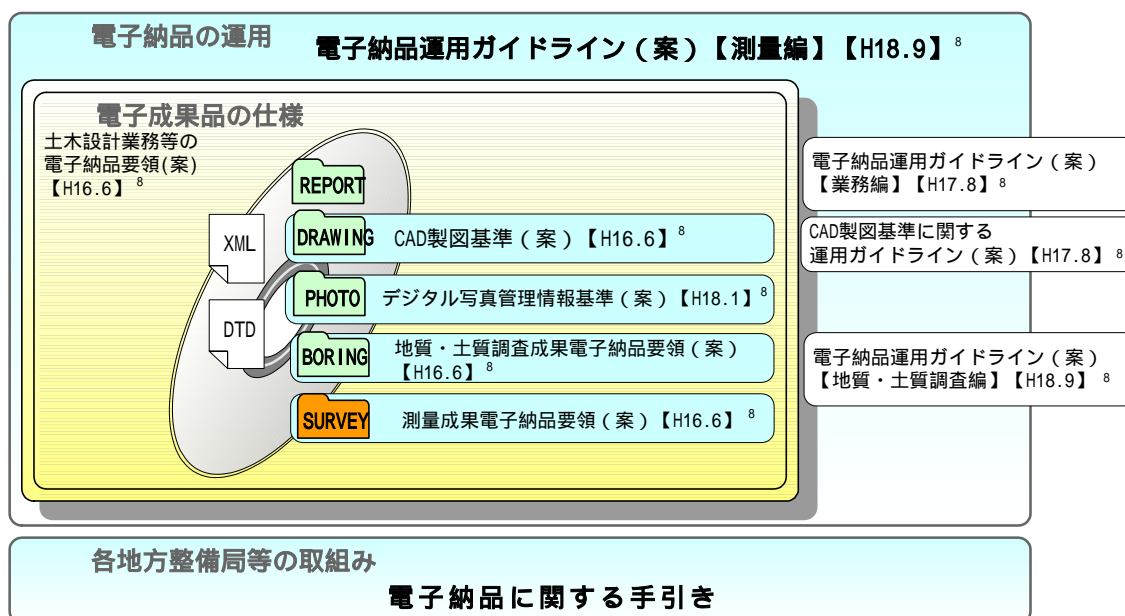


図 1-2 「電子納品に関する要領・基準(案)」の関係

測量成果の電子納品において必要となる「電子納品に関する要領・基準(案)」は次のとおりです。電子成果品の作成・チェックの際に必要なに応じて参照してください。

ア) 電子納品運用ガイドライン(案)【測量編】

測量の電子成果品作成について、発注者及び受注者が留意すべき事項及び参考となる事項を示し、統一的な運用を図ることを目的に作成したものです。

イ) 測量成果電子納品要領(案)

測量の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したものです。

⁸ 【】内の年月は、電子納品に関する要領・基準(案)等の版情報を表す。【H17.8】の場合、平成17年8月版となります。

1 電子納品運用ガイドライン(案)【測量編】の位置付け

ウ) 土木設計業務等の電子納品要領(案)

業務の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したものです。

エ) 電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】

業務の発注準備段階から保管管理全般にわたり、電子納品の運用に係わる事項について記載しています。

電子納品の運用に係わる全般的な事項については、電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】を参照してください。

オ) CAD 製図基準(案)

CAD データ作成にあたり必要となる属性情報(ファイル名、レイヤ名等)、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたものです。

応用測量における縦断図又は横断図や、受発注者間協議により CAD データして納品することとなった図面を作成する際に、レイヤ名などの CAD データの通則について参照してください。

カ) CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案)

CAD 製図基準(案)による、CAD データの取扱いについて、発注者及び受注者が留意すべき事項及び参考となる事項を示し、統一的な運用を図ることを目的に作成したものです。

キ) デジタル写真管理情報基準(案)

写真等(工事・測量・調査・地質・広報・設計)の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたものです。

現場写真を作成する際に、ファイル名や属性情報の記入方法などについて参照します。

1.6 測量要領で定められたフォルダとファイルの構成

測量成果として納品される電子成果品の構成は、表 1-1のとおりです。SURVEY フォルダに格納される測量成果は、次に示すとおり分類します。

- ア) 基準点測量成果
- イ) 水準測量成果
- ウ) 地形測量成果
- エ) 路線測量成果
- オ) 河川測量成果
- カ) 用地測量成果
- キ) ドキュメント(特記仕様書、協議書、実施報告書等)
- ク) 管理ファイル

測量における電子成果品の構成に関する留意点は次のとおりです。

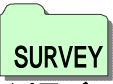


























- ア) 測量では、電子媒体ルート(図 6-2参照)に業務管理ファイル及びその DTD、SURVEY フォルダに測量成果に関する電子成果品を格納します。原則として、REPORT、DRAWING、PHOTO、BORING フォルダは使用しないため、作成は不要です。
- イ) 測量で作成される図面類は、DRAWING フォルダに格納せずに、SURVEY フォルダに格納します。SURVEY 以下の測量区分ごとのサブフォルダに各成果を分類して格納します。
- ウ) 測量で作成される実施報告書などの報告書は、REPORT フォルダに格納せずに、SURVEY/DOC フォルダに格納することを原則とします。⁹⁾
- エ) 測量で作成される作業写真などの写真類は、PHOTO フォルダに格納せずに、SURVEY/DOC フォルダに格納することを原則とします。^{9)、10)}

⁹⁾ 測量標の地上写真、基準点現況調査報告書は、SURVEY/KITEN 又は SUIJUN フォルダに格納することが定められています。測量要領又は測量ガイドラインにおいて、格納するフォルダが定められている報告書、写真類は、規定内容に従い測量区分ごとのサブフォルダに格納します。

¹⁰⁾ 受発注者間協議により、測量標の地上写真等の電子納品に「デジタル写真管理情報基準(案)」を適用する場合はこの限りではありません。

1 電子納品運用ガイドライン(案)【測量編】の位置付け

表 1-1 測量データフォルダ (SURVEY フォルダ) のフォルダ・ファイル構成

フォルダ	サブフォルダ	格納する電子成果品	ファイル形式
 SURVEY 測量データフォルダ 測量成果に関する電子成果品を格納します。		測量情報管理ファイル DTD	  SURVEY.XML SURVEY02.DTD (測量情報管理ファイル)
	 KITEN 基準点測量 サブフォルダ	測量成果管理ファイル DTD 基準点測量記録 基準点測量成果 基準点測量その他データ	  SURV_KTN.XML SURV_D02.DTD (測量成果管理ファイル)
			   (オリジナルファイル) (TEXTデータファイル) (PDFファイル)
			  DMI ファイル (拡張DM) DMファイル (拡張DM)
	 SUIJUN 水準測量 サブフォルダ	測量成果管理ファイル DTD 水準測量記録 水準測量成果 水準測量その他データ	  SURV_SJN.XML SURV_D02.DTD (測量成果管理ファイル)
			   (オリジナルファイル) (TEXTデータファイル) (PDFファイル)
			  DMI ファイル (拡張DM) DMファイル (拡張DM)
	 CHIKEI 地形測量 サブフォルダ	測量成果管理ファイル DTD 地形測量記録 地形測量成果 河川測量その他データ	  SURV_CHI.XML SURV_D02.DTD (測量成果管理ファイル)
			   (オリジナルファイル) (TEXTデータファイル) (PDFファイル)
			  DMI ファイル (拡張DM) DMファイル (拡張DM)

1 電子納品運用ガイドライン(案)【測量編】の位置付け

フォルダ	サブフォルダ	格納する電子成果品	ファイル形式
SURVEY	ROSEN 路線測量 サブフォルダ	測量成果管理ファイル DTD 路線測量記録 路線測量成果 路線測量その他データ	  SURV_RSN.XML SURV_DO2.DTD (測量成果管理ファイル)    (オリジナルファイル) (TEXTデータファイル) (PDFファイル)   DMIファイル (拡張DM) DMファイル (拡張DM)
	KASEN 河川測量 サブフォルダ	測量成果管理ファイル DTD 河川測量記録 河川測量成果 河川測量その他データ	  SURV_KSN.XML SURV_DO2.DTD (測量成果管理ファイル)    (オリジナルファイル) (TEXTデータファイル) (PDFファイル)   DMIファイル (拡張DM) DMファイル (拡張DM)
	YOUCHI 用地測量 サブフォルダ	測量成果管理ファイル DTD 用地測量記録 用地測量成果 用地測量その他データ	  SURV_YCH.XML SURV_DO2.DTD (測量成果管理ファイル)    (オリジナルファイル) (TEXTデータファイル) (PDFファイル)   DMIファイル (拡張DM) DMファイル (拡張DM)
	DOC ドキュメント サブフォルダ	特記仕様書 協議書 実施報告書等	  (オリジナルファイル) (PDFファイル)

【基本編】

2 電子納品の流れ

業務発注準備から成果品検査、保管管理にいたる電子納品の流れを図 2-1に示します。

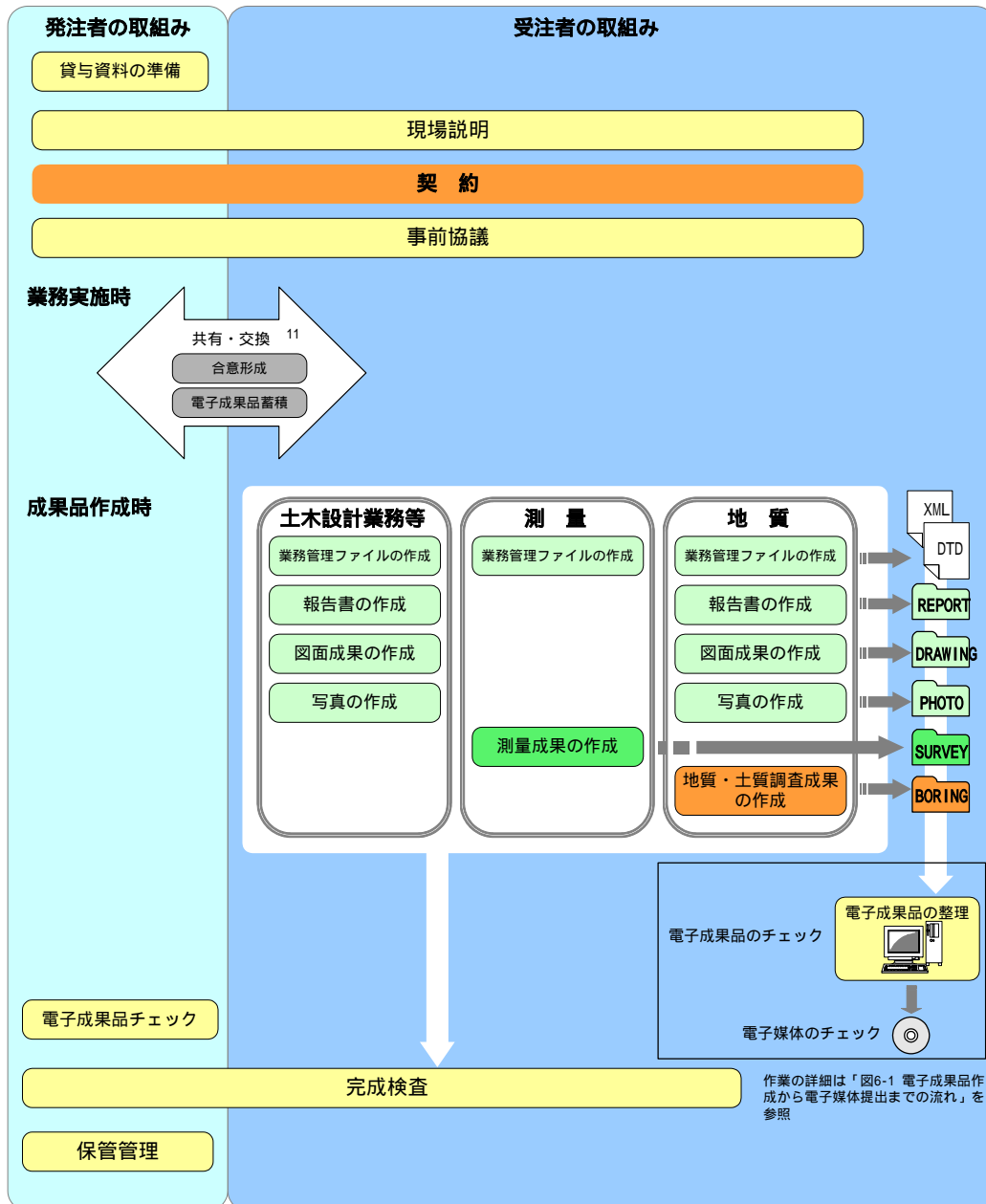


図 2-1 業務での電子納品の流れ

¹¹ 共有・交換の例については、工事ガイドラインの9章を参考にしてください。

3 発注時の準備

発注者は、電子データとして受注者に貸与する資料内容の確認及び特記仕様書の作成を行います。

貸与する電子データについて、資料の内容を確認するとともに、最新の電子納品チェックシステムによりチェックを行い、「電子納品に関する要領・基準（案）」に適合していること（エラーがないこと）を確認します。また、特記仕様書の作成において、成果品を規定する共通仕様書等に電子納品についての記載がない場合は、対象とする業務の特記仕様書に電子納品に関する事項を必ず記載します。

参考に、記載例を次に示します。

第 条 電子納品

1 本業務は電子納品対象業務とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「土木設計業務等の電子納品要領（案）（平成 年 月）、測量成果電子納品要領（案）（平成 年 月）：（以下、「要領」という。）」に基づいて作成した電子データを指す。

2 成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を 電子媒体（CD-R）で2部提出する。「要領」で特に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は調査職員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。

なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品運用ガイドライン（案）【測量編】（平成 年 月）」を参考にするものとする。

3 成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

「電子媒体で2部提出する。」とありますが、各整備局の判断により「電子媒体で正副2部提出する。」等としてもかまいません。

4 事前協議

4.1 協議事項

電子納品を円滑に行うために、次の事項について、受発注者間で事前協議を行ってください。

- ア) 業務中の情報交換
- イ) 電子納品対象書類
- ウ) 電子化が困難な資料の取扱い
- エ) 検符及び押印の取扱い
- オ) 第三者機関検定の実施方法
- カ) 検査の方法
- キ) その他の事項

なお、「8.2 事前協議チェックシート(測量用)」に測量の電子納品に関する事前協議チェックシートを掲載していますので、協議の際に参考にしてください。

4.2 業務中の情報交換

電子メール等を利用した業務実施中の打ち合わせを円滑に進めるため、電子メールアドレス、ファイルの添付方法、打ち合わせ協議簿の取扱い、ウィルス対策等について実施方法を確認します。

4.3 電子成果品とする対象書類

電子納品要領(案)では、電子納品の対象書類を定めています。しかし、電子化が困難な資料や、測量要領で定められていない測量成果の取扱いについては、事前に電子化の対象範囲を協議します。

特記仕様書、国土交通省公共測量作業規程、及び測量要領を参照のうえ、当該測量作業で作成する成果の電子納品の対象範囲と方法等を受発注者間で協議します。

(協議事項)

- ア) 電子納品の対象とする成果項目
- イ) 成果品の格納フォルダ、ファイル形式、ファイル命名¹²
- ウ) 電子納品対象外の成果の取扱い
- エ) 管理項目の記入方法
 - 測量成果ファイル名副題
 - 業務分野コード、業務キーワード

4.4 電子化が困難な資料の取扱い

電子化が困難な空中写真類や複製用ポジ原図(第二原図)等の取扱いについて受発注者間で事前に協議します。

測量成果等のうち、電子化することにより本来の精度・品質を確保することが現状では困難と考えられる成果は、電子化が困難な資料として電子納品の「対象外」とします。

- ア) 地形図原図
- イ) 複製用ポジ原図(第二原図)
- ウ) 空中写真、密着空中写真
- エ) ネガフィルム、ポジフィルム
- オ) 密着印画
- カ) 編集原図、編集素図

また、次の事項に該当する成果についても測量要領では電子化の対象外として定めています。

- ア) 従来アナログ的手法により実施される作業の成果であり、作業規程で別途電子化手法による成果の納品が規定されているもの
(例)： 平板測量における地形図原図を電子化して納品する場合は、「既成図数値化」の成果(DM データファイル)として納品します。
- イ) 原本自体に意味があるもの
(例)： 建標承諾書、測量標設置位置通知書

¹² 測量成果の電子納品対象書類は多岐にわたっており、実施する測量種別によってその成果の種類が異なります。各測量成果は、「6.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】」、「6.4 地形測量成果作成【SURVEY/CHIKI】」、「6.5 路線測量成果作成【SURVEY/ROSEN】」、「6.6 河川測量成果作成【SURVEY/KASEN】」、「6.7 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】」に示すファイル形式、ファイル命名規則に従い、それぞれ所定のフォルダに格納します。

4.5 検符及び押印の取扱い

電子納品する成果は、当面は検符及び押印を要さないものとしませんが、次の事項についてあらかじめ受発注者間で確認します。

- ア) 成果品作成者による点検方法及び点検紙の取扱い(納品の要否、保管場所、保管期間)
- イ) 押印を要する書類の提出方法

なお、「6.11 検符及び押印の取扱い」に検符及び押印の取扱いを示していますので、協議の際に参考にしてください。

4.6 第三者機関検定の実施方法

電子納品を行う測量成果等を第三者機関が検定する場合、第三者機関が検符を付した点検用の出力紙は、受注者が保管することが原則ですが、保管場所、保存期間については受発注者間で協議します。

なお、「6.12 第三者機関検定の実施」に第三者機関検定の実施方法を示していますので、協議の際に参考にしてください。

4.7 その他の事項

その他、次の事項についても事前協議し、決定してください。

- ア) 受注者が提出するオリジナルファイルのソフトウェア及びバージョン
- イ) 対象とする電子納品に関する要領・基準(案)の版
- ウ) 業務実施中の電子データの保管方法

5 業務中の情報管理

5.1 業務中の協議

事前協議で定めた事項について、日々電子データを整理し電子成果品を作成する中で問題等が見つかった場合は、速やかに協議を行います。また、発注者も日々情報を確認し協議が必要と判断した事項については、速やかに受注者に指示又は協議し、電子成果品の作成事項について確認します。

電子成果品の変更等については、受注者に日々蓄積した電子データを無駄にさせたり、過度な負担をかけることがないように、慎重に協議を行ってください。また、検査前に実施する協議では、電子納品の対象としたものによる検査方法の確認等、必要最小限とするよう努めてください。

5.2 日常的な電子成果品の作成・整理

受注者は、電子成果品となる文書データの作成、写真の整理等を日常的に実施してください。

受注者は、作成又は受け取った情報をハードディスク等へ適宜フォルダを作成して整理・管理します。この時、最終的な電子成果品の整理での混乱を避けるため電子データの一元管理をこころがけてください。

正しい情報の管理のため、受発注者間で合意された情報については、速やかに双方で決裁を行い、管理してください。

6 電子成果品の作成

6.1 作業の流れ

受注者が電子成果品を作成し、発注者へ提出するまでの流れを図 6-1に例示します。

受注者は、CD-R に格納する前に、作業フォルダをハードディスク上に作成し、作業を行います。

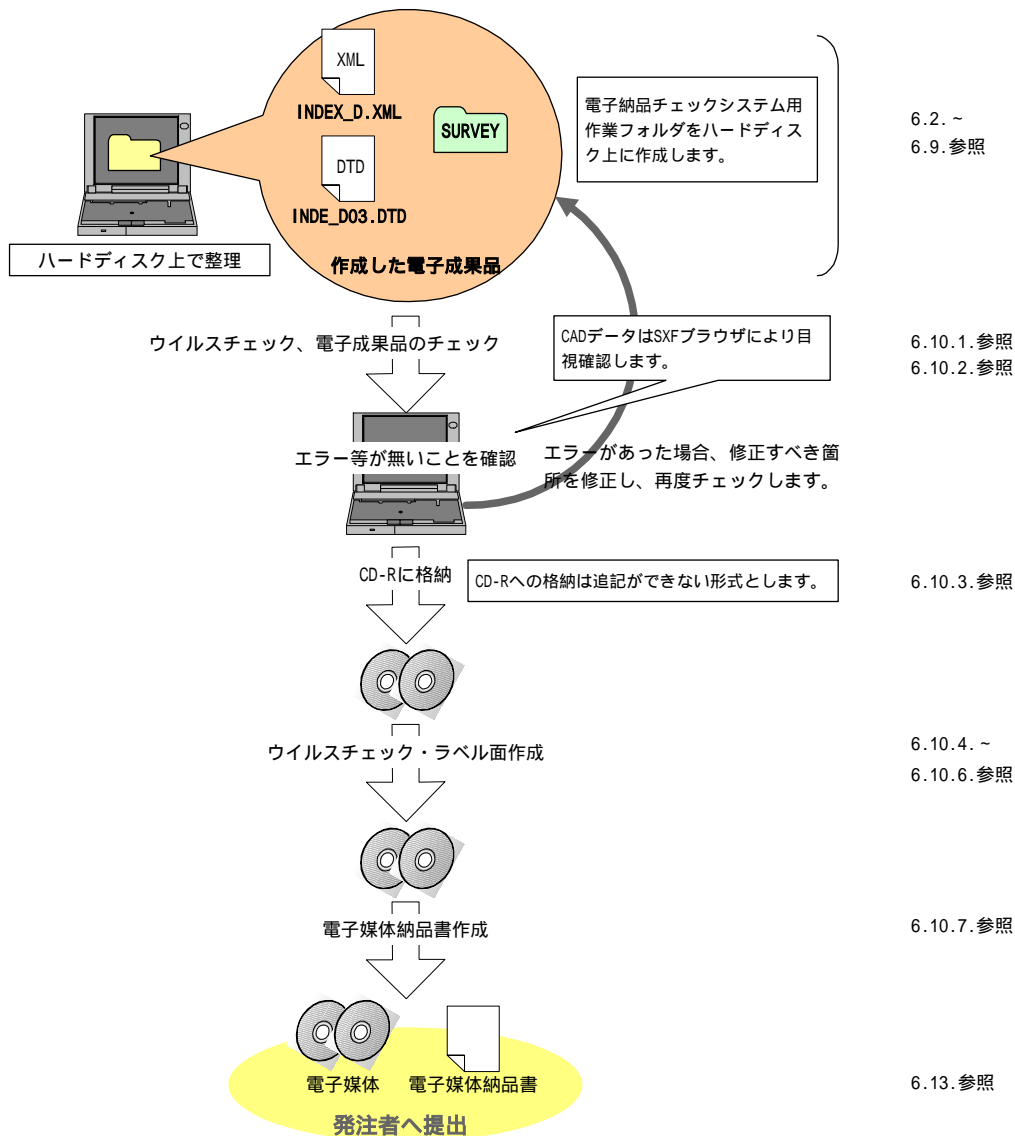


図 6-1 電子成果品作成から電子媒体提出までの流れ ¹³

¹³ ウイルスチェックは、ウイルス存在の有無の確認、駆除を確実にを行うため、電子成果品格納前のハードディスク上の電子成果品、電子成果品格納後の電子媒体で、計2回行うようにします。

6.2 共通事項

6.2.1 測量ガイドラインで追加された成果品

測量ガイドラインでは、新技術等への対応を図るため、測量要領【H16.6】では規定されていない測量成果が追加されています。追加された測量成果の具体例を次に示します。追加された成果を反映する形で、今後、測量要領の改訂を図る予定ですが、測量要領の次期改訂までは測量ガイドラインに従い、成果品を作成するようにしてください。

なお、追加された各成果の詳細については、「6.3 地形測量成果作成【SURVEY/CHIKEI】」～「6.7 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】」を参照してください。

- ア) 観測記簿（数値データ）、計算簿（数値データ）、GPS 基準局配置図等のネットワーク型 RTK-GPS 測定の測量記録
- イ) 航空レーザ測定の測量記録、測量成果
- ウ) 平均図、観測図等の測量記録の拡張 DM データインデックスファイル及びファイル説明書
- エ) 公共用地境界確定協議の申請書・確定図、点間測量観測手簿等の用地測量成果

6.2.2 フォルダ構成

(1) 全体構成

測量成果を格納する SURVEY フォルダ以下のフォルダ構成は次のとおりです（図 6-2参照）。

- ア) 電子媒体のルート直下には、「土木設計業務等の電子納品要領(案)」に従い、業務管理ファイルを格納します。また、管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納します。ただし、XSL ファイルの格納は受発注者間協議により決定します。
- イ) SURVEY フォルダの下には、測量情報管理ファイルを格納します。また、管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納します。ただし、XSL ファイルの格納は受発注者間協議により決定します。
- ウ) SURVEY フォルダの下には、KITEN、SUIJUN、CHIKEI、ROSEN、KASEN、YOUCHI、DOC のサブフォルダを作成します。各サブフォルダに格納するファイルは、次のとおりです。

6 電子成果品の作成

6.2 共通事項

- KITEN、SUIJUN、CHIKEI、ROSEN、KASEN、YOUCHI のサブフォルダには、各測量成果（基準点測量成果、水準測量成果、地形測量成果、地形測量成果、路線測量成果、河川測量成果、用地測量成果）及び測量成果管理ファイルを格納します。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納します。ただし、XSL ファイルの格納は受発注者間協議により決定します。
- DOC サブフォルダには、当該測量業務に関するドキュメント類(協議書・特記仕様書等)ファイルを格納します。

エ) フォルダ構成に関する留意事項は次のとおりです。

- フォルダ名称は、半角英数大文字とします。
- 格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもかまいません。

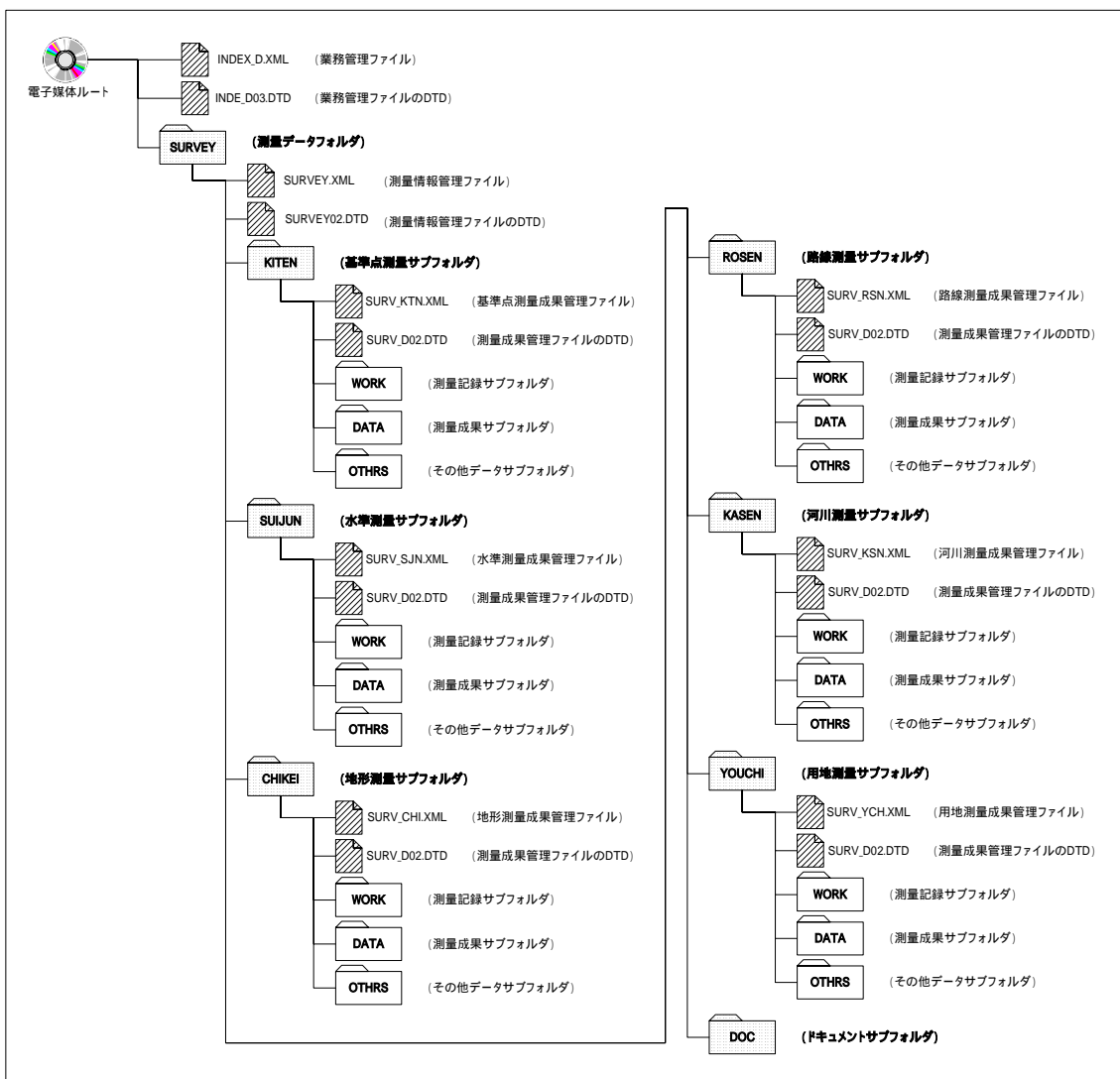


図 6-2 フォルダ構成

(2) サブフォルダ構成

DOC を除く KITEN、SUIJUN、CHIKAI、ROSEN、KASEN、YOUCHI 以下のサブフォルダの構成は次のとおりです（図 6-2参照）。

ア) DOC を除く KITEN、SUIJUN、CHIKAI、ROSEN、KASEN、YOUCHI の各フォルダには、WORK、DATA、OTHRs のサブフォルダを置き、各サブフォルダに当該測量成果を格納します。

測量作業の途中段階である測量記録(精度管理表等)、最終的な測量成果(成果表、DM データ等)、測量機器検定証明書、ファイル説明書等のその他のデータに分類して、各サブフォルダに格納します。

各サブフォルダに格納するファイルは、次のとおりです。

- WORK サブフォルダには測量記録を格納します。¹⁴
- DATA サブフォルダには測量成果を格納します。¹⁵
- OTHRs サブフォルダには測量機器検定証明書、ファイル説明書等のその他データを格納します。

イ) WORK、DATA の各フォルダには、測量地域及び測量の等級・地図情報レベルに応じて成果等を整理する必要がある場合、それぞれの細区分サブフォルダを作成し、当該成果を格納します。これらのサブフォルダの名称は、表 6-1に従います。

ウ) OTHRs フォルダには、測量機器検定証明書、ファイル説明書等に加えて、受発注者間協議により、測量要領で規定されていないその他の測量成果などを格納します。

エ) サブフォルダ構成に関する留意事項は次のとおりです。

- フォルダ名称は、半角英数大文字とします。
- 格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもかまいません。

¹⁴ 測量記録とは、測量作業の工程で得られる測量成果以外の記録・資料等の成果等を指します。

¹⁵ 測量成果とは、測量作業の最終工程で得られる成果等で、測量要領、測量ガイドラインで規定されています。国土交通省公共測量作業規程では、測量分類又は測量細分類毎に整理すべき成果等の項目を明示していますが、測量要領、測量ガイドラインでは、「測量記録」及び「測量成果」に区分して納品することを規定しています。

表 6-1 測量区分とフォルダ構成

測量区分	成果区分	測量細区分 ¹⁶⁾	サブフォルダ名 ¹⁶⁾
基準点測量 <KITEN>	測量記録 <WORK>	基準点測量 <KTN_*>	/KITEN /WORK/KTN_*
	測量成果 <DATA>	基準点測量 <KTN_*>	/KITEN /DATA/KTN_*
	その他データ <OTHR>		/KITEN /OTHR
水準測量 <SUIJUN>	測量記録 <WORK>	水準測量 <SJN_*>	/SUIJUN /WORK/SJN_*
	測量成果 <DATA>	水準測量 <SJN_*>	/SUIJUN /DATA/SJN_*
	その他データ <OTHR>		/SUIJUN /OTHR
地形測量 <CHIKEI>	測量記録 <WORK>	平板測量 <HETS_*>	/CHIKEI /WORK/HETS_*
		撮影 <SATU_*>	/CHIKEI /WORK/SATU_*
		空中三角測量 <KUSAN_*>	/CHIKEI /WORK/KUSAN_*
		図化 <ZUKA_*>	/CHIKEI /WORK/ZUKA_*
		地図編集 <ZUHEN_*>	/CHIKEI /WORK/ZUHEN_*
		既成図数値化 <MPDG_*>	/CHIKEI /WORK/MPDG_*
		デジタルオルソ <ORTH_*>	/CHIKEI /WORK/ORTH_*
		航空レーザ測量 <LASE_*>	/CHIKEI /WORK/LASE_*
		その他地形測量 <OCHK_*>	/CHIKEI /WORK/OCHK_*
	測量成果 <DATA>		/CHIKEI /DATA
その他データ <OTHR>		/CHIKEI /OTHR	
路線測量 <ROSEN>	測量記録 <WORK>	中心線測量 <RCYUSN_*>	/ROSEN /WORK/RCYUSN_*
		縦横断測量 <RZYUO_*>	/ROSEN /WORK/RZYUO_*

¹⁶⁾ 「*」は各細区分に該当する作業を複数地区や複数の精度で実施した場合の識別記号を表し、地区数等に応じて A～Z ならびに 1～9 を適用します。1 地区・1 精度で実施した場合は「A」を適用します。

測量区分	成果区分	測量細区分 ¹⁶⁾	サブフォルダ名 ¹⁶⁾
		詳細測量 <RSYOS_*>	/ROSEN /WORK/RSYOS_*
		幅杭測量 <RHABA_*>	/ROSEN /WORK/RHABA_*
	測量成果 <DATA>	中心線測量 <RCYUSN_*>	/ROSEN /DATA/RCYUSN_*
		縦横断測量 <RZYUO_*>	/ROSEN /DATA/RZYUO_*
		詳細測量 <RSYOS_*>	/ROSEN /DATA/RSYOS_*
		幅杭測量 <RHABA_*>	/ROSEN /DATA/RHABA_*
	その他データ <OTHR>		/ROSEN /OTHR
河川測量 <KASEN>	測量記録 <WORK>	距離標設置測量 <WKYOR_*>	/KASEN /WORK/WKYOR_*
		定期縦横断測量 <WZYUO_*>	/KASEN /WORK/WZYUO_*
		深淺測量 <WSINS_*>	/KASEN /WORK/WSINS_*
		法線測量 <WHOSE_*>	/KASEN /WORK/WHOSE_*
		海浜・汀線測量 <WKAINA_*>	/KASEN /WORK/WKAINA_*
	測量成果 <DATA>	距離標設置測量 <WKYOR_*>	/KASEN /DATA/WKYOR_*
		定期縦横断測量 <WZYUO_*>	/KASEN /DATA/WZYUO_*
		深淺測量 <WSINS_*>	/KASEN /DATA/WSINS_*
		法線測量 <WHOSE_*>	/KASEN /DATA/WHOSE_*
		海浜・汀線測量 <WKAINA_*>	/KASEN /DATA/WKAINA_*
	その他データ <OTHR>		/KASEN /OTHR
	用地測量 <YOUCHI>	測量記録 <WORK>	資料調査 <YSIRYO_*>
境界確認 <YKYOK_*>			/YOUCHI /WORK/YKYOK_*
境界測量 <YKYOS_*>			/YOUCHI /WORK/YKYOS_*
境界点間測量 <YTENKN_*>			/YOUCHI /WORK/YTENKN_*

6 電子成果品の作成

6.2 共通事項

測量区分	成果区分	測量細区分 ¹⁶⁾	サブフォルダ名 ¹⁶⁾
		面積計算 <YMENSK_*>	/YOUCHI /WORK/YMENSK_*
		用地実測図等の作成 <YZISKZ_*>	/YOUCHI /WORK/YZISKZ_*
	測量成果 <DATA>	資料調査 <YSIRYO_*>	/YOUCHI /DATA/YSIRYO_*
		境界確認 <YKYOK_*>	/YOUCHI /DATA/YKYOK_*
		境界測量 <YKYOS_*>	/YOUCHI /DATA/YKYOS_*
		境界点間測量 <YTENKN_*>	/YOUCHI /DATA/YTENKN_*
		面積計算 <YMENSK_*>	/YOUCHI /DATA/YMENSK_*
		用地実測図等の作成 <YZISKZ_*>	/YOUCHI /DATA/YZISKZ_*
	その他データ <OTHR>		/YOUCHI /OTHR

6.2.3 ファイル形式

測量成果のファイル形式は、次のとおり分類されます。

- PDF 形式
- TXT 形式
- 拡張 DM 形式
- CAD 形式
- オリジナル形式
- その他の形式

個々の測量成果のファイル形式は「6.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】」～「6.7 用地測量成果作成【SURVEY/YOUCHI】」を参照してください。

(1) PDF 形式

納品後の利用方法が閲覧中心となる成果は、PDF 形式で納品します。

PDF ファイルのしおり作成の要否は受発注者間協議により決定します。

PDF ファイルは次に示す 1), 2) のいずれかの方法で作成します。

なお、観測手簿、観測記簿及び計算簿の PDF ファイル作成にあたっては、ファイルのとりまとめ単位を受発注者間協議により確認します。観測手簿等、枚数の多い成果は、利用の便を考慮して 100 枚程度に分割してファイルを作成します。

1) アナログ資料のスキャニング

元成果が手書き資料等の紙媒体である場合は、スキャニングにより電子化し、PDF 形式で保存します。スキャナでイメージ化するときの留意事項は次のとおりです。

- スキャニングの解像度は 200dpi 以上を原則とし、文字が識別できるものとしします。
- 色調については、元成果が白黒の場合は、白黒 2 値を原則とし、色があるものは、フルカラーを原則としします。
- 縮尺が図中に表記されていない場合、又は表記されている縮尺とスキャニングの縮尺が異なる場合は、図中にスキャニング時の縮尺を明記します。
- 元成果の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は、元成果を入力可能な大きさに分割してファイルを作成します。この場合は、図の縮尺に準じて電子化し、ファイル画面の上部にインデックス（位置関

係説明図)を入れます(図 6-3参照)。

- ファイルサイズが 10MB を超える場合、あるいは出力サイズが A3 を超える場合、受発注者間協議により、それぞれ、10MB を超えないファイルサイズ、A3 を超えない出力サイズに元成果を分割してファイルを作成します。

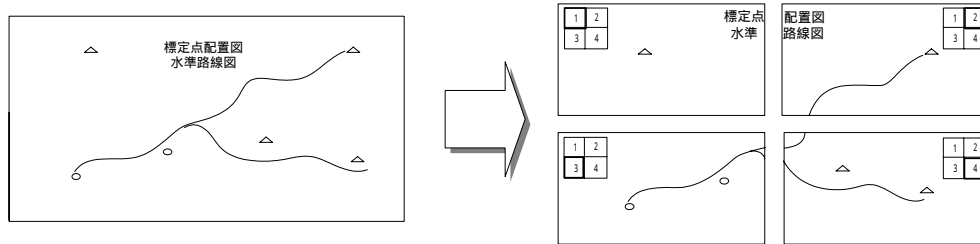


図 6-3 元成果を分割する場合のインデックスの記入例

2) オリジナルソフトウェアで出力可能な成果品の場合

測量設計 CAD ソフト、ワープロ、表計算ソフト等で作成した成果品は、オリジナルファイルから PDF ファイルに変換することを原則とします。

(2) TXT 形式

基準点測量の成果表、空中三角測量成果表、基準点残差表等、他の測量作業への入力データとして利用される成果等は、TXT 形式で納品します。TXT 形式には、フォーマットが測量要領で規定されているもの(成果表等)と、測量ガイドラインなどで別途例示されているもの(基準点残差表等)とがあります。なお、後者の場合は受発注者間協議により、納品形式を決定し、データの仕様等を説明したファイル説明書(PDF 形式)を別途作成し、成果品データと併せて納品します。

また、フォーマットが規定されていないものは、受発注者間協議により適切なフォーマットを決定します。

TXT 形式とは、基本的にすべてがキャラクタコードからなる形式です。ただし、改行やファイルの終端などにはキャラクタ以外の制御コードが入ります。

(3) 拡張 DM 形式

デジタルマッピング、TS・GPS 地形測量、既成図数値化等の作業により作成される面的な成果(地形図等)に加えて、応用測量で作成される平面図等の DM データは、「拡張デジタルマッピング実装規約(案)」(国土地理院技術資

料)に定められている拡張 DM 形式で納品します。

拡張 DM 形式とは、国土交通省公共測量作業規程で定められている数値地形測量を対象とした DM データファイル仕様について、デジタルマッピング取得分類基準を明確にし、かつ、応用測量成果等を含める形で拡張したデータファイル仕様です。

なお、標定点配置図、水準路線図、対空標識点一覧図、標定図、刺針点一覧図、空中写真三角測量実施一覧図などの拡張 DM ファイルの作成に当たっては、次の点に留意してください。

- 図郭座標には [0 , 0] を記述します。
- 座標は平面直角座標系とします(通常は左下を原点とする相対座標)。
- 座標の単位は、m とします。
- 使用した作業規程で、地図データとの区別を行います。
- 標定図などの表現に必要な表現分類コードは、「6.4.2 地形測量成果ファイルの作成」で、測量成果ごとに定義します。
- 背景には作成された DM データファイルを用いてもかまいません。

(4) CAD 形式

基準点網図、水準路線図、空中三角測量実施一覧図等の図面類の成果は、拡張 DM 形式で納品することが原則ですが、受発注者間協議により、CAD 形式で納品してもかまいません。また、測量座標を持たない縦断面図、横断面図等の断面図の成果は受発注者間協議により、CAD 形式で納品します。

納品する CAD データの仕様は、CAD 製図基準(案)に準拠することを原則としますが、CAD 製図基準(案)で定められていない事項については、受発注者間協議により決定します。

また、必要に応じてデータの仕様等を説明したファイル説明書 (PDF 形式) を、測量区分ごとのその他データサブフォルダ (OTHR) に格納します。

CAD データのレイヤ構成は表 6-2を参考にしてください。

表6-2 CAD データのレイヤ構成

拡張 DM データの分類 ¹⁷				SXF 形式変換後の格納レイヤ名	
大分類	分類	DM 分類コード	名称(例)		
境界等	境界	1101 ~ 1107	都道府県界 等	S-BMK-ROW	
土地利用等	用地	6511 ~ 6518	大字の境界 等		
交通施設	線形図	2505	中心線	S-BMK	
地形等	等高線	計曲線	7101、7105	等高線(計曲線) 等	S-BGD-HICN
		計曲線以外	7102 ~ 7104、 7106 ~ 7108	等高線(主曲線) 等	S-BGD-LWCN
	基準点	7301 ~ 7312	三角点 等	S-BMK-SRVR	
交通施設	線形図	2501、2503、 2504、6501、 6502	中心杭、IP 点 等		
地形等	整飾	7903、7904	タイトル(外枠) 等	S-TTL-FRAM	
		7906、7908	凡例(罫線) 等	S-TTL-LINE	
		7901、7902、 7905、7907、 7911 ~ 7916	図枠(外枠) 等	S-TTL	
注記		(注記データ)		S-BGD-HTXT	
上記以外のデータ		(上記以外)		S-BGD	

なお、CAD データ交換標準フォーマットである SXF (P21) 形式¹⁸で納品する場合、SXF レベル 2 Ver.2.0 では属性や三次元を表現できないため、注意が必要です。

¹⁷ 「DM-CAD(SXF)変換仕様(案)第二版」(建設情報標準化委員会電子地図/建設情報連携小委員会)を参考とします。<http://www.jacic.or.jp/hyojun/dm-cad.htm>

¹⁸ SXF (Scadec data eXchange Format) は、STEP AP202(製品モデルとの関連を持つ図面)規格を実装した CAD データ交換標準です。これは、「CAD データ交換標準開発コンソーシアム(SCADEC)(平成 11 年 3 月 ~ 平成 12 年 8 月)」、「建設情報標準化委員会 CAD データ交換標準小委員会(平成 12 年 9 月 ~)」(いずれも事務局 JACIC(財団法人日本建設情報総合センター))にて策定されたもので、ISO TC184/SC4(STEP 規格を審議する国際会議)にて、STEP 規格を実装したものであることが認知されています。

SXF の物理ファイルには、国際標準に則った「P21(Part21)形式」と、国内 CAD データ交換のための簡易形式である「SFC 形式」の 2 種類があります。

(5) オリジナル形式

ソフトウェアの固有性が高い測量機器等のデータや、ワープロ・表計算ソフト等を利用して作成されている成果は、受発注者間協議により、データ形式を特定の上、オリジナル形式で納品します。

また、観測手簿、観測記簿、点の記、測量標の地上写真は、受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもかまいません。その場合、次の事項をあらかじめ受発注者間で確認してください。

- オリジナルファイルの形式
数値データのレコードフォーマット、ファイル単位や図面データのファイル形式などを、データ表示、印刷、後続作業での利用を考慮して決定します。
- ファイル説明書の有無
必要に応じてデータの仕様等を説明したファイル説明書（PDF形式）を、測量区分ごとのその他データサブフォルダ（OTHRS）に格納します。
- デジタル写真管理情報基準（案）の適用の要否
点の記及び測量標の地上写真の場合。

1) 観測手簿、観測記簿

観測手簿及び観測記簿は、PDF形式に加えて、測量に用いた機器固有のオリジナル数値データを納品してもかまいません。その場合、データファイルの内容、データ形式等を説明したファイル説明書（PDF形式）をその他データサブフォルダ（OTHRS）に格納します。

2) 点の記

点の記はワープロソフトや表計算ソフト等を用いて作成される場合が多く、PDF形式に加えて、点の記を作成する際に用いたソフトのオリジナル形式でファイルを納品してもかまいません。

3) 測量標の地上写真

測量標の地上写真は、受発注者間協議により、PDF形式又は写真帳を作成する際に用いたワープロソフト等のオリジナル形式で納品してもかまいません。ただし、ワープロソフトのオリジナルのファイル形式は情報の再現性が必ずしも担保されないことから、PDF形式の電子ファイルを併せて納品することが望ましいです。

なお、受発注者間協議により、測量標の地上写真の納品に「デジタル写真管理情報基準（案）」を適用する場合はこの限りではありません。

(6) その他の形式

関係団体等が推奨しているファイル形式でも、受発注者間協議により、成果の納品は可能です。具体的な例は次のとおりです。

- 観測手簿（多角、水準）における APA・SIMA（日本測量調査技術協会、日本測量機器工業会）
- 測量成果（座標、路線、縦断、横断、画地）における SIMA（日本測量機器工業会）
- TS 地形測量における JSP・SIMA-DM（全国測量設計業協会連合会・日本測量機器工業会）
- 地形・数値測量における精度管理表の TXT 形式（日本測量調査技術協会）
- 観測手簿（GPS 方式）における RINEX(Receiver Independent Exchange format)：受信機に独立な交換フォーマット

6.2.4 ファイル命名規則

測量成果等のファイル名は半角英数大文字とし、ファイル名に使用する文字は半角(1バイト文字)で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」のみを原則とします。

測量成果等のファイル命名規則は次のとおりです。

(1) 管理ファイル等

- ア) 測量情報管理ファイルは「SURVEY.XML」、測量情報管理ファイルの DTD は SURVEY02.DTD(02 は版情報)とします。
- イ) 測量成果管理ファイルは、基準点測量 SURV_KTN.XML、水準測量 SURV_SJN.XML、地形測量 SURV_CHI.XML、路線測量 SURV_RSN.XML、河川測量 SURV_KSN.XML、用地測量 SURV_YCH.XML とします。測量成果管理ファイルの DTD は SURV_D02.DTD(02 は版番号)とします。
- ウ) 各管理ファイルのスタイルシートのファイル名は、SURVEY02.XSL、SURV_D02.XSL とします。

(2) 測量成果等

測量成果等のファイル名は、以下の規則を原則とし、図 6-4に従います。

- ア) 図 6-4の「 」部分には、測量細区分ごとに設定した記号(表 6-3参照)を付します。
- イ) 図 6-4の「 」部分には、測量成果の種類を表す名称(表 6-5、表 6-6、表 6-7、表 6-8、表 6-9参照)を付します。
- ウ) 図 6-4の「nnn」部分には、同一成果のファイル内で割振った連番を付します。

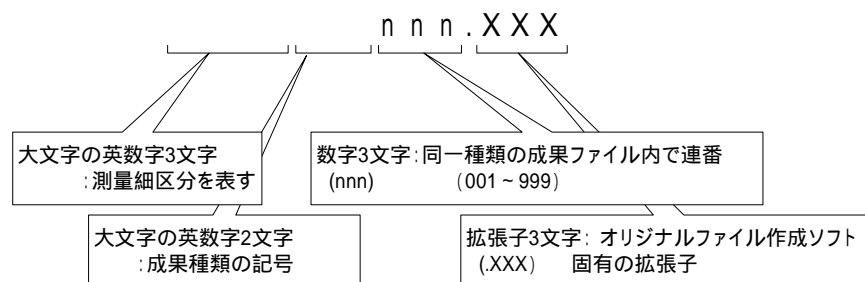


図 6-4 測量成果ファイルの命名規則

ファイル命名規則の具体的内容及び留意事項は、次のとおりです。

ア) 図 6-4のファイル命名規則のうち、「」の部分に設定する記号は、表 6-3を参照します。表 6-3に示す記号の 3 文字目の「*」には、通常「A」を記入します。複数地域や複数精度の場合は、B、C・・・Z、1...9 により、補助的に区分してください。

なお、この記号は該当する測量細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させます。

(例)：撮影で 1/8,000 と 1/12,500 が同時発注になった場合、2 つの測量細区分サブフォルダに格納し、ファイル名もそれぞれ、「CSA nnn.XXX」、「CSB nnn.XXX」とします。

イ) 図 6-4のファイル命名規則のうち、「」の部分には、成果等のカテゴリー区分を表すアルファベットの設定記号 1 文字（表 6-4参照）、当該測量細区分内での連番（1～9、A～Z）1 文字を割当てます。

該当する測量成果のファイル名の記号は、表 6-5、表 6-6、表 6-7、表 6-8、表 6-9を参照します。

ウ) 同一成果のファイルが複数ある場合は、「nnn」の部分に連番(001～999)を割当てます。ファイル数が 999 を超える場合は、A00～A99、B00～B99、C00～C99、・・・、Z00～Z99 の連番を割当てます。

(例1)：基準点測量の成果表を、PDF 形式で 3 枚電子化した場合
KJAA1001.PDF , KJAA1002.PDF , KJAA1003.PDF

(例2)：基準点測量の精度管理表を、枚数が多いため 1 ファイルにまとめた場合 KJAG1001.PDF

(例3)：空中写真測量(標定点設置)の精度管理表を 100 枚電子化し、1 ファイルにまとめた場合 CSAG1001.PDF

エ) 打合せ協議等により、ファイル名、格納フォルダを決定する場合は、表 6-4 の「成果のカテゴリ」の区分に則ることを原則とします。

オ) DM データインデックスファイル及び DM データファイルは、どちらも公共測量作業規程においてデジタルマッピングデータファイル仕様として定義されており、共に DM データとして捉えられています。ただし、物理

6 電子成果品の作成

6.2 共通事項

的なファイル単位は異なるため、拡張子は「DMI」、「DM」として区別します。また、受発注者間協議により、DM データファイルに国土基本図図郭に準じたファイル命名を行ってもかまいません。

(例) : 12MD3546.DM

表6-3 測量細区分記号一覧表

測量区分	測量細区分		設定記号 ¹⁹	
基準点測量			KJ*	
	その他		KOT	
水準測量			SJ*	
	その他		SOT	
地形測量	平板測量	平板測量	CH*	
		TS・GPS 地形測量	CH*	
	撮影	標定点の設置	CS*	
		対空標識の設置	CS*	
		撮影	CS*	
		刺針	CS*	
	空中三角測量	空中三角測量	CK*	
	図化	現地調査	CZ*	
		図化	CZ*	
		地形補備測量	CZ*	
		編集	CZ*	
		現地補測	CZ*	
		地形図原図作成	CZ*	
		デジタルマッピング	CZ*	
		写真図作成	CZ*	
	修正測量 測量手法により CH* 又は CZ* 等に格納			
	地図編集			CU*
	既成図数値化			CM*
	デジタルオルソ			CD*
	航空レーザ測量	キャリブレーション記録	レーザ計測	CL*
			標高点検	CL*
			フィルタリング	CL*
			メッシュデータ作成	CL*

¹⁹「*」は各細区分に該当する作業を複数地区や複数の精度で実施した場合の識別記号を表し、地区数等に応じて A～Z ならびに 1～9 を適用します。1 地区・1 精度で実施した場合は「A」を適用します。

6 電子成果品の作成

6.2 共通事項

測量区分	測量細区分		設定記号 ¹⁹
		数値データファイル作成	CL*
		オリジナルデータ	CL*
		グラウンドデータ	CL*
		水部ポリゴン	CL*
		メッシュデータ	CL*
		等高線データ	CL*
	その他地形測量		CO*
	その他		ZOT
路線測量	中心線測量	線形決定	RC*
		条件点の観測	RC*
		IP 設置測量	RC*
		中心線測量	RC*
	縦横断測量	仮 BM 設置測量	RZ*
		縦断測量	RZ*
		横断測量	RZ*
	詳細測量		RS*
	幅杭測量	用地幅杭設置測量	RH*
	その他		ROT
河川測量	距離標設置測量	距離標設置測量	WK*
		水準基標測量	WK*
	定期縦横断測量	定期縦断測量	WZ*
		定期横断測量	WZ*
	深浅測量		WS*
	法線測量		WH*
	海浜・汀線測量	海浜測量	WT*
		汀線測量	WT*
	その他		WOT
	用地測量	資料調査	
境界確認		復元測量	YK*
		境界確認	YK*
境界測量		境界測量	YY*
		補助基準点の設置	YY*
		用地境界仮杭設置	YY*
		用地境界杭設置	YY*
境界点間測量			YT*
面積計算			YM*
用地実測図等の作成			YZ*
その他		YOT	

表 6-4 ファイル名設定記号のカテゴリ区分

成果等のカテゴリ	成果等の名称	サブフォルダ区分	設定記号
点の成果	成果表、観測成果表、平均成果表、等	DATA	A
面の成果	DM データインデックスファイル、DM データファイル、DM データファイル説明書、数値地形モデルファイル、デジタルオルソデータファイル、位置情報ファイル、オリジナルデータ(数値データ)、グラウンドデータ(数値データ)、水部ポリゴンデータ(数値データ)、メッシュデータ、等高線データ等	DATA	B
点の記	点の記、点の記(数値データ)、等	DATA	C
手簿・記簿	観測手簿、観測手簿(数値データ)、観測記簿、観測記簿(数値データ)、点検測量簿、埋標手簿、標定記録簿、航空レーザ測量システム点検記録、欠測率調査表、レーザ計測点点検表、GPS 基準局明細表、GPS 手簿、記簿、基線解析結果、調整用基準点調査表、調整用基準点明細表、コース間点検ポイント残差表、地区間検証結果表、基準点測量に準ずる測量記録(手簿・記簿など)、水準測量に準ずる測量記録(手簿・記簿など)等	WORK	D
計算簿類	計算簿、計算簿(数値データ)、標定点成果表、標定点測量簿、標定点測量簿(数値データ)、同明細簿、対空標識点明細票、空中三角測量成果表、基準点残差表、座標測定簿、調整用基準点残差表等	WORK	E
網図・一覧図類	基準点網図、平均図、観測図、水準路線図、観測網図、標定点配置図、対空標識点一覧図、標定図、刺針点一覧図、空中三角測量実施一覧図、調整用基準点・コース間点検ポイント配点図等	WORK	F
精度管理表	精度管理表	WORK	G
説明書類	基準点現況調査報告書、撮影記録、業務報告書、測量標の地上写真、飛行・計測諸元計画表、航空レーザ計測記録、航跡図、計測漏れ点検図、数値標高モデル作成作業記録、検定機関の様式等	WORK	H
その他	測量機器検定証明書、GPS 観測スケジュール表、ファイル説明書、衛星配置図、GPS 基準局配置図、航空レーザ計測作業日誌等	OTHR	J

6 電子成果品の作成

6.2 共通事項

成果等のカテゴリ	成果等の名称	サブフォルダ区分	設定記号
特記仕様書	特記仕様書	DOC	SPECS
協議書	協議書等	DOC	MEETS
実施報告書	実施報告書	DOC	SUVRP

表 6-5 測量成果種類の設定記号(基準点測量成果)

測量細区分	公共測量作業規程による分類		設定記号	サブフォルダ区分
	測量細分類	成果等の名称		
基準点測量 <KJ*>	基準点測量	成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		基準点網図データインデックス ファイル	F4	WORK
		基準点網図	F1	WORK
		基準点網図データファイル説明書	F5	WORK
		平均図データインデックスフ ァイル	F6	WORK
		平均図	F2	WORK
		平均図データファイル説明書	F7	WORK
		観測図データインデックスフ ァイル	F8	WORK
		観測図	F3	WORK
		観測図データファイル説明書	F9	WORK
		観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		観測記簿	D3	WORK
		観測記簿(数値データ)	D6	WORK
		計算簿	E1	WORK
		計算簿(数値データ)	E2	WORK
		点の記	C1	DATA
		点の記(数値データ)	C2	DATA
		建標承諾書	-	-
		精度管理表	G1	WORK
		点検測量簿	D4	WORK
		埋標手簿	D5	WORK
		測量標の地上写真	H2	WORK
		測量標設置位置通知書	-	-
		基準点現況調査報告書	H1	WORK
		その他 <KOT>		測量機器検定証明書
GPS 観測スケジュール表	J2			OTHR
衛星配置図	J4			OTHR
GPS 基準局配置図	J5			OTHR
ファイル説明書	J3			OTHR
水準測量 <SJ*>	水準測量	観測成果表	A1	DATA
		観測成果表(数値データ)	A2	DATA
		平均成果表	A3	DATA
		平均成果表(数値データ)	A4	DATA
		水準路線図データインデックス ファイル	F3	WORK
		水準路線図	F1	WORK

6 電子成果品の作成

6.2 共通事項

測量細区分	公共測量作業規程による分類		設定記号	サブフォルダ区分
	測量細分類	成果等の名称		
		水準路線図データファイル説明書	F4	WORK
		平均図データインデックスファイル	F5	WORK
		平均図	F2	WORK
		平均図データファイル説明書	F6	WORK
		観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		計算簿	E1	WORK
		点の記	C1	DATA
		点の記(数値データ)	C2	DATA
		建標承諾書	-	-
		精度管理表	G1	WORK
		点検測量簿	D3	WORK
		測量標の地上写真	H2	WORK
		測量標設置位置通知書	-	-
		基準点現況調査報告書	H1	WORK
その他		測量機器検定証明書	J1	OTHR
<SOT>		ファイル説明書	J2	OTHR

表6-6 測量成果種類の設定記号(地形測量成果)

測量細区分	公共測量作業規程による分類		設定記号	サブフォルダ区分	
	測量細分類	成果等の名称			
平板測量 <CH*>	平板測量	地形図原図	-	-	
		複製用ポジ原図(第二原図)	-	-	
		精度管理表	G1	WORK	
	TS・GPS 地形 測量	DM データインデックスファイル	B2	DATA	
		DM データファイル	B1	DATA	
		DM データファイル説明書	B3	DATA	
		地形図原図	-	-	
		複製用ポジ原図(第二原図)	-	-	
		精度管理表	G2	WORK	
撮影 <CS*>	標定点の設置	標定点成果表	E1	WORK	
		標定点配置図データインデックス ファイル	F6	WORK	
		標定点配置図	F1	WORK	
		標定点配置図データファイル説明書	F7	WORK	
		水準路線図データインデックスフ ァイル	F8	WORK	
		水準路線図	F2	WORK	
		水準路線図データファイル説明書	F9	WORK	
		標定点測量簿	E2	WORK	
		標定点測量簿(数値データ)	E5	WORK	
		同明細簿	E3	WORK	
		標定点表示空中写真	-	-	
		精度管理表	G1	WORK	
		対空標識の設 置	対空標識点明細票	E4	WORK
			偏心要素測定簿	-	-
	偏心計算簿		-	-	
	対空標識点表示密着空中写真		-	-	
	対空標識点一覧図データインデッ クスファイル		FA	WORK	
	対空標識点一覧図		F3	WORK	
	対空標識点一覧図データファイル 説明書		FB	WORK	
	精度管理表		G2	WORK	
	撮影	ネガフィルム	-	-	
		密着印画	-	-	
		標定図データインデックスファイル	FC	WORK	
		標定図	F4	WORK	
		標定図ファイルデータ説明書	FD	WORK	
		縮小標定図ポジフィルム	-	-	
		撮影記録	H1	WORK	
精度管理表(撮影コース別)		G3	WORK		

6 電子成果品の作成

6.2 共通事項

測量細区分	公共測量作業規程による分類		設定記号	サブフォルダ区分		
	測量細分類	成果等の名称				
	刺針	精度管理表（撮影ロール別）	G4	WORK		
		刺針点明細票	-	-		
		偏心要素測定簿	-	-		
		偏心計算簿	-	-		
		刺針点表示密着空中写真	-	-		
		刺針点一覧図データインデックスファイル	FE	WORK		
		刺針点一覧図	F5	WORK		
		刺針点一覧図データファイル説明書	FF	WORK		
		精度管理表	G5	WORK		
		空中三角測量 <CK*>	空中三角測量	空中三角測量成果表	E1	WORK
空中三角測量実施一覧図データインデックスファイル	F2			WORK		
空中三角測量実施一覧図	F1			WORK		
空中三角測量実施一覧図データファイル説明書	F3			WORK		
パスポイント・タイポイントの表示密着ポジフィルム	-			-		
パスポイント・タイポイントの表示密着空中写真	-			-		
基準点残差表	E2			WORK		
座標測定簿	E3			WORK		
計算簿	E4			WORK		
精度管理表	G1			WORK		
図化 <CZ*>	現地調査			現地調査空中写真	-	-
				精度管理表	G1	WORK
	図化			図化素図	-	-
		基準点資料図	-	-		
		標定記録簿	D1	WORK		
		精度管理表	G2	WORK		
	地形補備測量	地形補備測量図	-	-		
		精度管理表	G3	WORK		
	編集	編集素図	-	-		
		注記資料図	-	-		
		精度管理表	G4	WORK		
	現地補測	現地補測の結果を整理した藍焼図及び編集素図	-	-		
		精度管理表	G5	WORK		
	補測編集	精度管理表	G6	WORK		
	地形図原図作成	地形図原図	-	-		
		複製用ポジ原図(第二原図)	-	-		
		地形図原図の藍焼図	-	-		
		精度管理表	G7	WORK		

6 電子成果品の作成

6.2 共通事項

測量細区分	公共測量作業規程による分類		設定記号	サブフォルダ区分
	測量細分類	成果等の名称		
	デジタルマッピング	DM データインデックスファイル	B2	DATA
		DM データファイル	B1	DATA
		DM データファイル説明書	B3	DATA
		地形図原図	-	-
		複製用ポジ原図(第二原図)	-	-
		精度管理表	G8	WORK
	写真図作成	複写ネガフィルム	-	-
		複写網ポジフィルム	-	-
		精度管理表	G9	WORK
修正測量	地形図修正原図	-	-	
	複製用ポジ原図(第二原図)	-	-	
	地形図修正原図の藍焼図等	-	-	
	精度管理表 ²⁰	G*	WORK	
地図編集<CU*>	編集原図	-	-	
	注記資料図	-	-	
	精度管理表	G1	WORK	
既成図数値化<CM*>	DM データインデックスファイル	B2	DATA	
	DM データファイル	B1	DATA	
	DM データファイル説明書	B3	DATA	
	精度管理表	G1	WORK	
デジタルオルソ<CD*>	数値写真	-	-	
	数値地形モデルデータインデックスファイル	B4	DATA	
	数値地形モデルファイル	B3	DATA	
	数値地形モデルデータファイル説明書	B5	DATA	
	正射投影画像	-	-	
	モザイク画像	-	-	
	デジタルオルソデータファイル	B1	DATA	
	位置情報ファイル	B2	DATA	
	精度管理表	G1	WORK	
航空レーザー測量<CL*>	キャリブレーション記録	航空レーザー測量システム点検記録	D1	WORK
		レーザー計測	飛行・計測諸元計画表	H1
		航空レーザー計測記録	H2	WORK
		航跡図	H3	WORK

²⁰修正測量については、測量手法により「平板測量(CH*)」又は「図化(CZ*)」等に分けて成果を格納します。

連番は最終番号の次の番号を使います。(1~9、A~Z)

例)平板測量 CH*G3001.PDF

図化 CZ*GA001.PDF

6 電子成果品の作成

6.2 共通事項

測量細区分	公共測量作業規程による分類		設定記号	サブフォルダ区分
	測量細分類	成果等の名称		
		計測漏れ点検図	H4	WORK
		欠測率調査表	D2	WORK
		レーザ計測点点検表	D3	WORK
		GPS 基準局明細表	D4	WORK
		GPS 手簿、記簿、基線解析結果	D5	WORK
	標高点検	調整用基準点調査表	D6	WORK
		調整用基準点明細表	D7	WORK
		コース間点検ポイント残差表	D8	WORK
		調整用基準点・コース間点検ポイント配点図	F1	WORK
		調整用基準点残差表	E1	WORK
		地区間検証結果表	D9	WORK
		基準点測量に準ずる測量記録(手簿・記簿など)	DA	WORK
		水準測量に準ずる測量記録(手簿・記簿など)	DB	WORK
	フィルタリング	数値標高モデル作成作業記録	H5	WORK
		グラウンドデータ作成作業精度管理表	G1	WORK
		検定機関の様式	H6	WORK
	メッシュデータ作成	メッシュデータ作成作業精度管理表	G2	WORK
	数値データファイル作成	数値データファイル作成作業精度管理表	G3	WORK
	オリジナルデータ	オリジナルデータ(数値データ)	B1	DATA
	グラウンドデータ	グラウンドデータ(数値データ)	B2	DATA
水部ポリゴン	水部ポリゴンデータ(数値データ)	B3	DATA	
メッシュデータ	メッシュデータインデックスファイル	B5	DATA	
	メッシュデータファイル(数値データ)	B4	DATA	
	メッシュデータファイル説明書	B6	DATA	
等高線データ	等高線データインデックスファイル	B8	DATA	
	等高線データファイル(数値データ)	B7	DATA	
	等高線データファイル説明書	B9	DATA	

6 電子成果品の作成

6.2 共通事項

測量細区分	公共測量作業規程による分類		設定記号	サブフォルダ区分
	測量細分類	成果等の名称		
その他地形測量<CO*> ²¹		測量成果類	-	DATA
		測量記録類	-	WORK
その他 <ZOT>		測量機器検定証明書	J1	OTHR
		ファイル説明書	J2	OTHR
		GPS 基準局配置図	J3	OTHR
		航空レーザ計測作業日誌	J4	OTHR

²¹ その他地形測量サブフォルダには、いずれの測量にも属さない地形測量及び今後の新技術による測量の成果を格納します。

表6-7 測量成果種類の設定記号(路線測量成果)

測量細区分	公共測量作業規程による分類		設定記号	サブフォルダ区分		
	測量細分類	成果等の名称				
中心線測量 <RC*>	線形決定	線形図データインデックスファイル	B4	DATA		
		線形図	B1	DATA		
		線形図データファイル説明書	B5	DATA		
		計算簿	E1	WORK		
	条件点の観測	成果表	A1	DATA		
		成果表(数値データ)	A2	DATA		
		観測手簿	D1	WORK		
		計算簿	E2	WORK		
		計算簿(数値データ)	E6	WORK		
		精度管理表	G1	WORK		
	IP 設置測量	計算簿	E3	WORK		
		計算簿(数値データ)	E7	WORK		
		点の記	C1	DATA		
		精度管理表	G2	WORK		
	中心線測量	線形地形図データインデックスファイル	B6	DATA		
		線形地形図	B2	DATA		
		線形地形図データファイル説明書	B7	DATA		
		引照点図	B3	DATA		
		計算簿	E4	WORK		
		計算簿(数値データ)	E5	WORK		
		点の記	C2	DATA		
		精度管理表	G3	WORK		
		縦横断測量 <RZ*>	仮 BM 設置測量	成果表	A1	DATA
				成果表(数値データ)	A2	DATA
	水準路線図			F1	WORK	
	平均図			F2	WORK	
	観測手簿			D1	WORK	
点の記	C1			DATA		
精度管理表	G1			WORK		
縦断測量	成果表		A3	DATA		
	成果表(数値データ)		A4	DATA		
	縦断面図		B1	DATA		
	観測手簿		D2	WORK		
	精度管理表		G2	WORK		
横断測量	横断面図		B2	DATA		
	観測手簿		D3	WORK		

6 電子成果品の作成

6.2 共通事項

測量細区分	公共測量作業規程による分類		設定記号	サブフォルダ 区分		
	測量細分類	成果等の名称				
		観測手簿(数値データ)	D4	WORK		
		精度管理表	G3	WORK		
詳細測量 <RS*>	詳細測量	成果表	A1	DATA		
		成果表(数値データ)	A2	DATA		
		詳細平面図データインデックスファイル	B3	DATA		
		詳細平面図	B1	DATA		
		詳細平面図データファイル説明書	B4	DATA		
		縦横断面図	B2	DATA		
		観測手簿	D1	WORK		
		精度管理表	G1	WORK		
		幅杭測量 <RH*>	用地幅杭設置 測量	杭打図データインデックスファイル	B2	DATA
				杭打図	B1	DATA
杭打図データファイル説明書	B3			DATA		
計算簿	E1			WORK		
計算簿(数値データ)	E2			WORK		
精度管理表	G1			WORK		
その他 <ROT>				測量機械検定証明書	J1	OTHR
		点検測量簿	J2	OTHR		
		ファイル説明書	J3	OTHR		
		GPS 基準局配置図	J4	OTHR		

表6-8 測量成果種類の設定記号(河川測量成果)

測量細区分	公共測量作業規程による分類		設定記号	サブフォルダ区分		
	測量細分類	成果等の名称				
距離標設置 測量 <WK*>	距離標設置測 量	成果表	A1	DATA		
		成果表(数値データ)	A2	DATA		
		点の記	C1	DATA		
		距離標位置情報整理表	A3	DATA		
		観測手簿	D1	WORK		
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK		
		計算簿	E1	WORK		
		精度管理表	G1	WORK		
		水準基標測量	成果表	A4	DATA	
	成果表(数値データ)		A5	DATA		
	水準路線図		F1	WORK		
	平均図		F2	WORK		
	点の記		C2	DATA		
	観測手簿		D3	WORK		
	観測手簿(数値データ)		D4	WORK		
	計算簿		E2	WORK		
	精度管理表		G2	WORK		
	定期縦横断 測量 <WZ*>	定期縦断測量	測量成果整理表	A1	DATA	
測量成果(数値データ)			A2	DATA		
水準路線図			F1	WORK		
平均図			F2	WORK		
縦断面図			B1	DATA		
観測手簿			D1	WORK		
計算簿			E1	WORK		
精度管理表			G1	WORK		
業務報告書			H1	WORK		
定期横断測量		測量成果整理表	A3	DATA		
		測量成果(数値データ)	A4	DATA		
		横断面図	B2	DATA		
		観測手簿	D2	WORK		
		観測手簿(数値データ)	D3	WORK		
		精度管理表	G2	WORK		
		業務報告書	H2	WORK		
		深浅測量 <WS*>	深浅測量	横断面図	B1	DATA
				記録紙	-	-
観測手簿	D1			WORK		
観測手簿(数値データ)	D2			WORK		
縦断面図	B2			DATA		
等高・等深線図データイン デックスファイル	B4			DATA		

6 電子成果品の作成

6.2 共通事項

測量細区分	公共測量作業規程による分類		設定記号	サブフォルダ区分
	測量細分類	成果等の名称		
		等高・等深線図	B3	DATA
		等高・等深線図データファイル説明書	B5	DATA
法線測量 <WH*>	法線測量	線形図データインデックスファイル	B2	DATA
		線形図	B1	DATA
		線形図データファイル説明書	B3	DATA
		観測手簿	D1	WORK
		計算簿	E1	WORK
		計算簿(数値データ)	E2	WORK
		精度管理表	G1	WORK
海浜・汀線 測量 <WT*>	海浜測量	等高・等深線図データインデックスファイル	B3	DATA
		等高・等深線図	B1	DATA
		等高・等深線図データファイル説明書	B4	DATA
		観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		計算簿	E1	WORK
		計算簿(数値データ)	E3	WORK
		精度管理表	G1	WORK
	汀線測量	汀線図	B2	DATA
		観測手簿	D3	WORK
		観測手簿(数値データ)	D4	WORK
		計算簿	E2	WORK
		計算簿(数値データ)	E4	WORK
		測量機械検定証明書	J1	OTHR
その他 <WOT>	点検測量簿	J2	OTHR	
	ファイル説明書	J3	OTHR	
	GPS 基準局配置図	J4	OTHR	

表 6-9 測量成果種類の設定記号(用地測量成果)

測量細区分	公共測量作業規程による分類		設定記号	サブフォルダ区分
	測量細分類	成果等の名称		
資料調査 <YS*>	資料調査	公図等転写図	-	-
		公図等転写連続図データ インデックスファイル	F3	WORK
		公図等転写連続図	F1	WORK
		公図等転写連続図データ ファイル説明書	F4	WORK
		土地調査表	H1	WORK
		建物登記簿等調査表	H3	WORK
		地積測量図転写図	F2	WORK
		権利者調査表	H2	WORK
境界確認 <YK*>	復元測量	復元箇所位置図データ インデックスファイル	B2	DATA
		復元箇所位置図	B1	DATA
		復元箇所位置図データ ファイル説明書	B3	DATA
		観測手簿	D1	WORK
	境界確認	土地境界立会確認書	H1	WORK
		公共用地境界確定協議の 申請書・確定図	H2	WORK
境界測量 <YY*>	境界測量	成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		測量計算簿等	E1	WORK
		測量計算簿等(数値データ)	E5	WORK
	補助基準点の 設置	成果表	A3	DATA
		成果表(数値データ)	A4	DATA
		基準点網図データ インデックスファイル	F2	WORK
		基準点網図	F1	WORK
		基準点網図データ ファイル説明書	F3	WORK
		観測手簿	D3	WORK
		観測手簿(数値データ)	D4	WORK
		計算簿	E2	WORK
		計算簿(数値データ)	E6	WORK
		精度管理表	G1	WORK
	用地境界仮杭 設置	設置箇所位置図データ インデックスファイル	B3	DATA

6 電子成果品の作成

6.2 共通事項

測量細区分	公共測量作業規程による分類		設定記号	サブフォルダ区分
	測量細分類	成果等の名称		
		設置箇所位置図	B1	DATA
		設置箇所位置図データファイル説明書	B4	DATA
		成果表	A5	DATA
		成果表(数値データ)	A6	DATA
		計算簿	E3	WORK
		計算簿(数値データ)	E7	WORK
		精度管理表	G2	WORK
	用地境界杭設置	設置箇所位置図データインデックスファイル	B5	DATA
		設置箇所位置図	B2	DATA
		設置箇所位置図データファイル説明書	B6	DATA
		成果表	A7	DATA
		成果表(数値データ)	A8	DATA
		計算簿	E4	WORK
		計算簿(数値データ)	E8	WORK
境界点間測量 <YT*>	境界点間測量	点間測量観測手簿	D1	WORK
		精度管理表	G1	WORK
		精度管理図	G2	WORK
面積計算 <YM*>	面積計算	面積計算書	A1	DATA
		面積計算書(数値データ)	A2	DATA
用地実測図等の作成 <YZ*>	用地実測図等の作成	用地実測図原図	-	-
		用地実測データインデックスファイル	B3	DATA
		用地実測データ	B1	DATA
		用地実測データファイル説明書	B4	DATA
		用地平面図	-	-
		用地平面データインデックスファイル	B5	DATA
		用地平面データ	B2	DATA
		用地平面データファイル説明書	B6	DATA
		精度管理表	G1	WORK
その他 <YOT>		測量機器検定証明書	J1	OTHRS
		点検測量簿	J2	OTHRS
		ファイル説明書	J3	OTHRS
		GPS 基準局配置図	J4	OTHRS
		既知点検測の観測手簿・計算書・検測図	J5	OTHRS

6.2.5 2段撮影、複数区域、複数等級等の場合のフォルダ構成

一件の業務において、同一の測量作業（測量細区分）を複数の異なる仕様で実施した場合、測量細区分を示すサブフォルダ及びファイル命名則の設定記号を区別して、電子データを作成します。測量細区分を区別する例は次のとおりです。

- ア) 2段撮影業務
- イ) 複数地区の測量作業の合併業務
- ウ) 複数の異なる精度の図化作業
- エ) 複数の異なる等級の基準点測量、水準測量等

(1) 測量細区分フォルダによる区分

表 6-1に示す各サブフォルダ名の最後の1文字「*」に、A~Z、1~9を設定し、測量細区分を補助的に区分します。

(2) ファイル命名規則による区分

表 6-3に示す「*」にA~Z、1~9を設定し、測量細区分を補助的に区分します。この記号は該当する測量細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させます。

(例)：撮影で1/8,000と1/12,500が同時発注になった場合 2つの測量細区分サブフォルダに格納し、ファイル名もそれぞれ「.../SATU_A/CSA nnn.XXX」、「.../SATU_B/CSB nnn.XXX」とします。

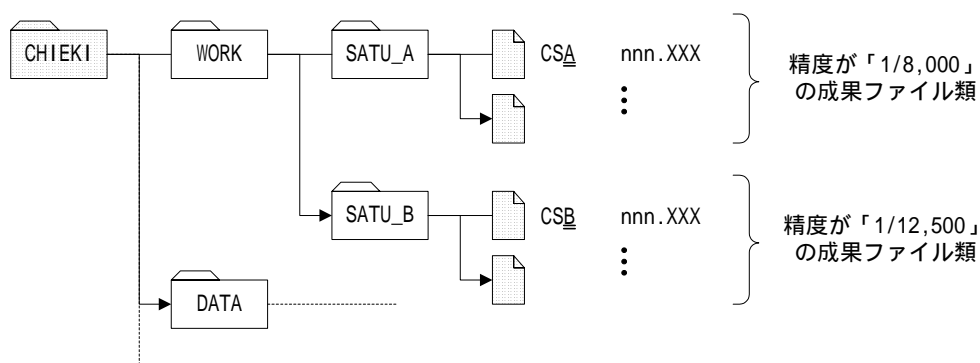


図 6-5 ファイル命名と格納フォルダの例

(3) フォルダ構成の具体例

1) 2段撮影業務

空中写真測量において、2段撮影（例：撮影縮尺 1/10,000 と 1/25,000）を行なった場合、図 6-6に示すフォルダ構成となります。

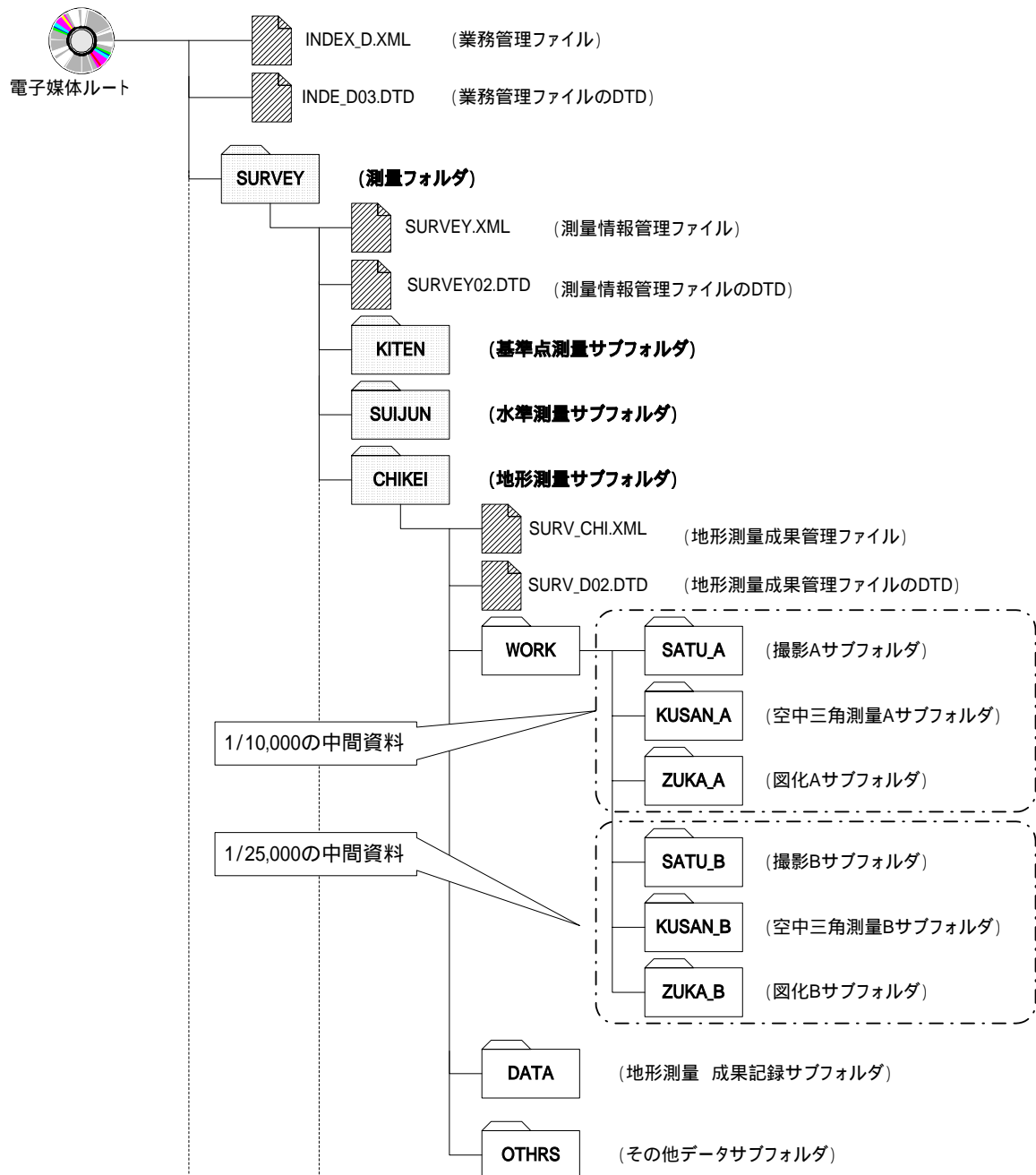


図 6-6 フォルダ構成の例(1)

2) 複数地区の測量作業の合併業務

複数地区（例： 地区と 地区）で測量作業（例：3級基準点測量）を行なった場合、図 6-7に示すフォルダ構成となります。

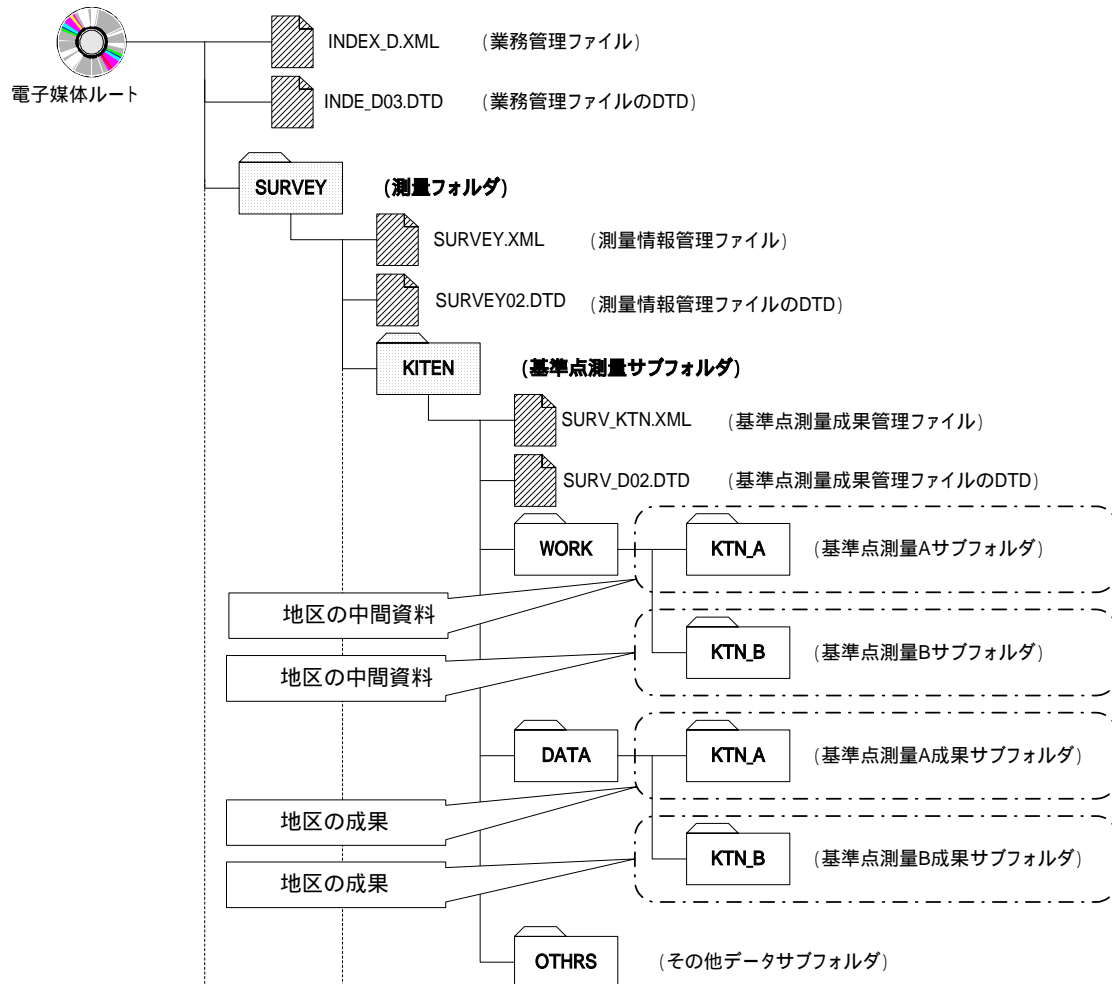


図 6-7 フォルダ構成の例(2)

3) 複数の異なる精度の図化作業

複数の異なる精度（例：1/5,000と1/10,000）で図化作業を行なった場合、
図6-8に示すフォルダ構成となります。

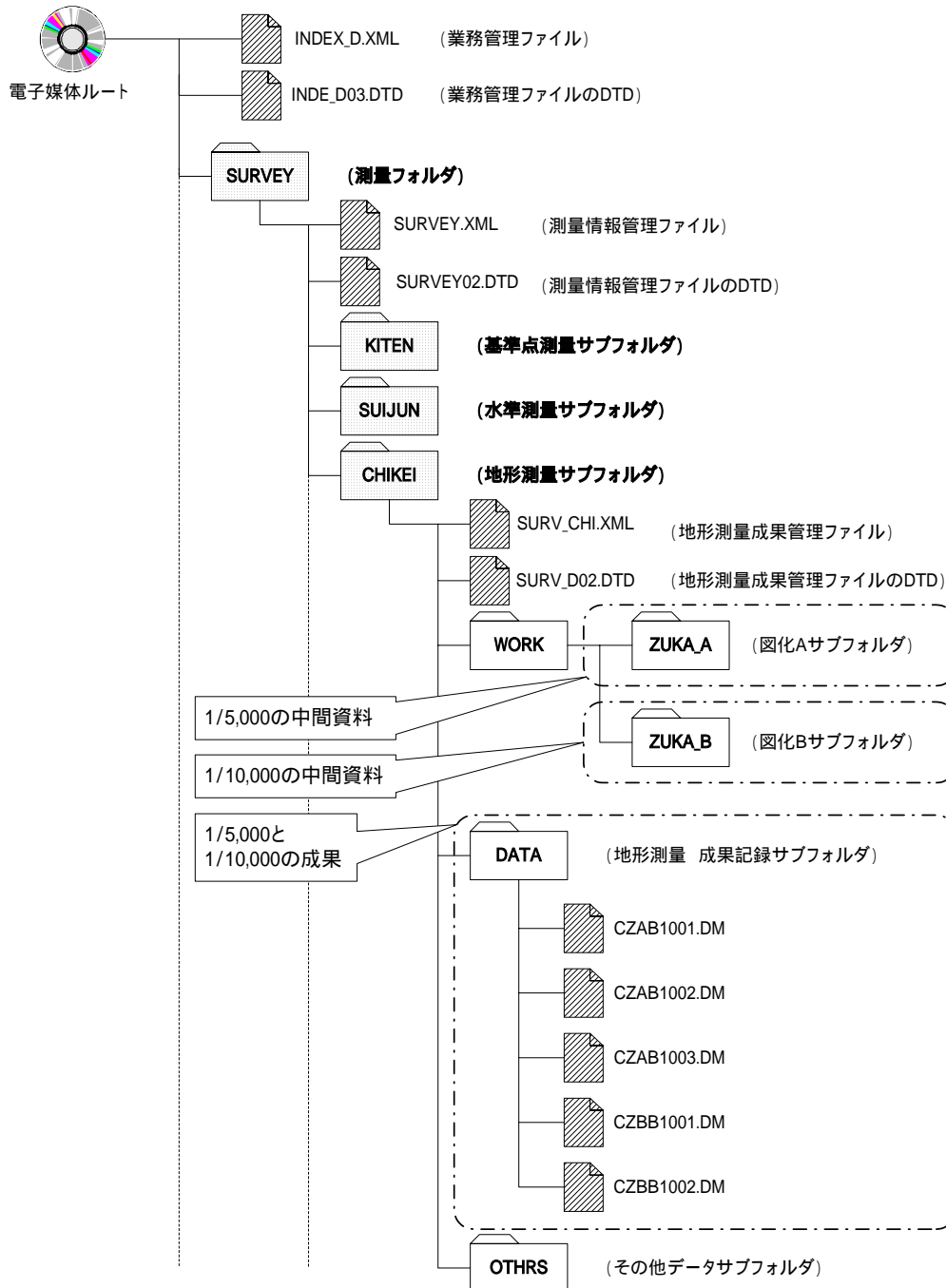


図6-8 フォルダ構成の例(3)

4) 複数の異なる等級の基準点測量、水準測量

複数の異なる等級の基準点測量、水準測量（例：2級基準点、3級基準点と3級水準）を行なった場合、図6-9に示すフォルダ構成となります。

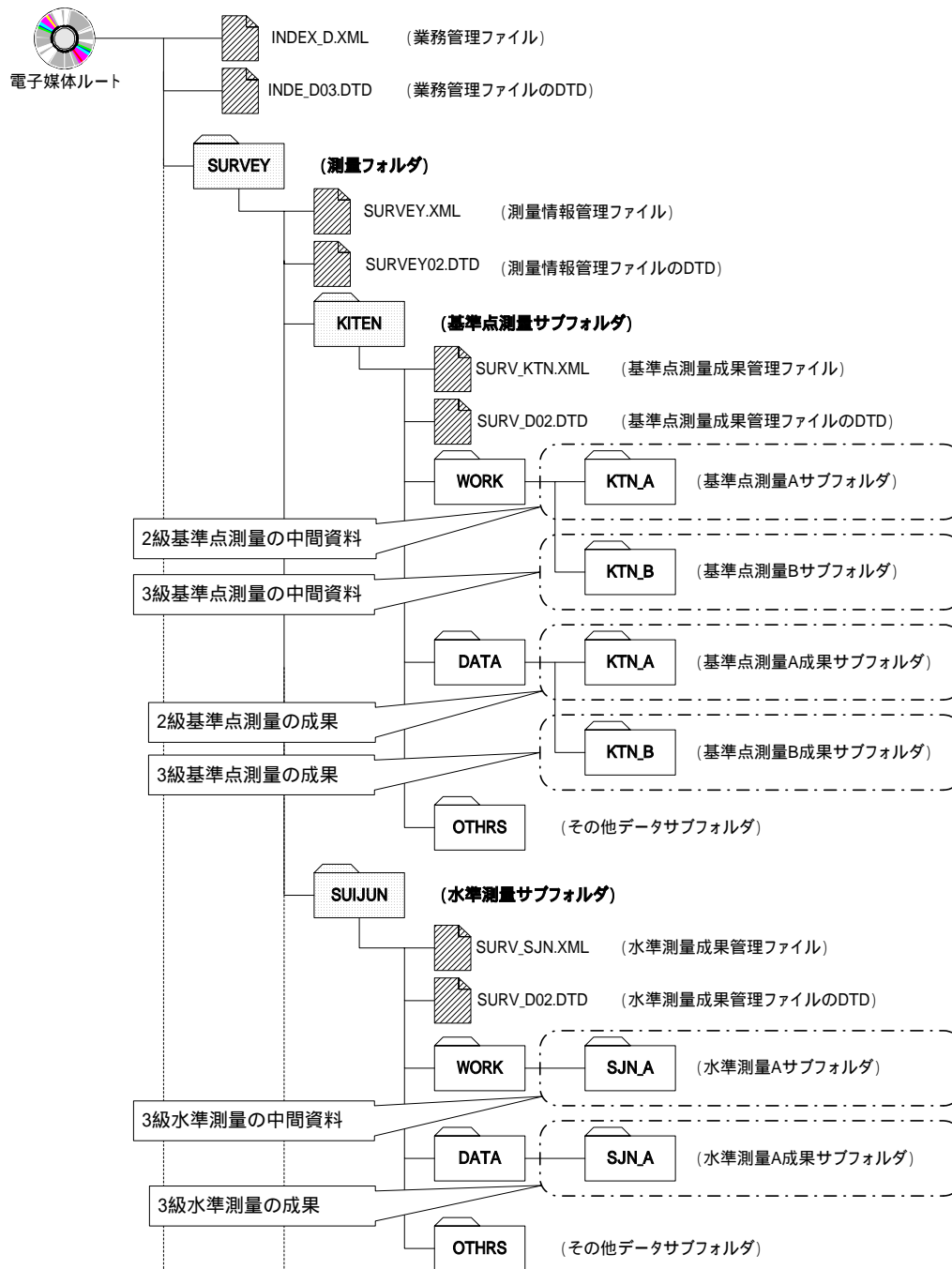


図6-9 フォルダ構成の例(4)

6.2.6 図面成果の個別格納

図面に関する成果のうち、複数の図面成果を一つの図面成果にまとめて作成した場合、当該図面成果ファイルを必要数分複写して成果ごとに電子ファイルを作成し、各フォルダ内に格納します。

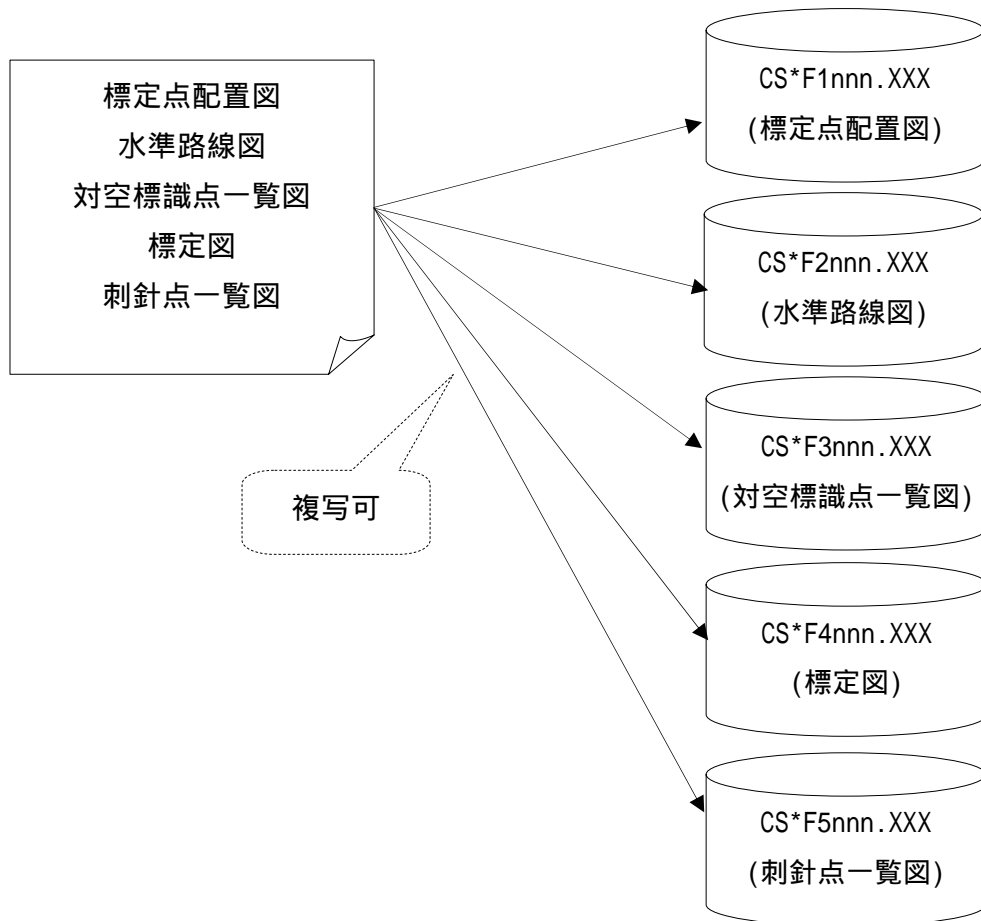


図 6-10 図面成果の個別格納

6.2.7 既存地図の利用

既存地図を測量成果に利用した場合、ファイル説明書に出所を明記します。

(例)：「国土地理院発行の 1/25,000 地形図を標定点配置図に一部使用した。」

6.2.8 測地系

測量要領で扱う測地系は、世界測地系とします。

測量法改正(平成 13 年 6 月 20 日)によって、平成 14 年 4 月 1 日から測量法に従って行われる公共測量は、新しい測地系(世界測地系)に準拠して行うこととなりました。このため、平成 14 年度以降、国土交通省の公共測量業務の電子納品に適用される測量要領では、新しい測地系(世界測地系)に準拠した測量成果の納品が義務付けられています。

6.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

6.3.1 対象となる成果品

基準点測量の電子納品対象書類は、表 6-10に示すとおり、多岐に分かれています。電子納品の対象となる各成果は、表 6-10に示すファイル形式、ファイル名で作成し、所定のフォルダに格納します（図 6-11参照）。

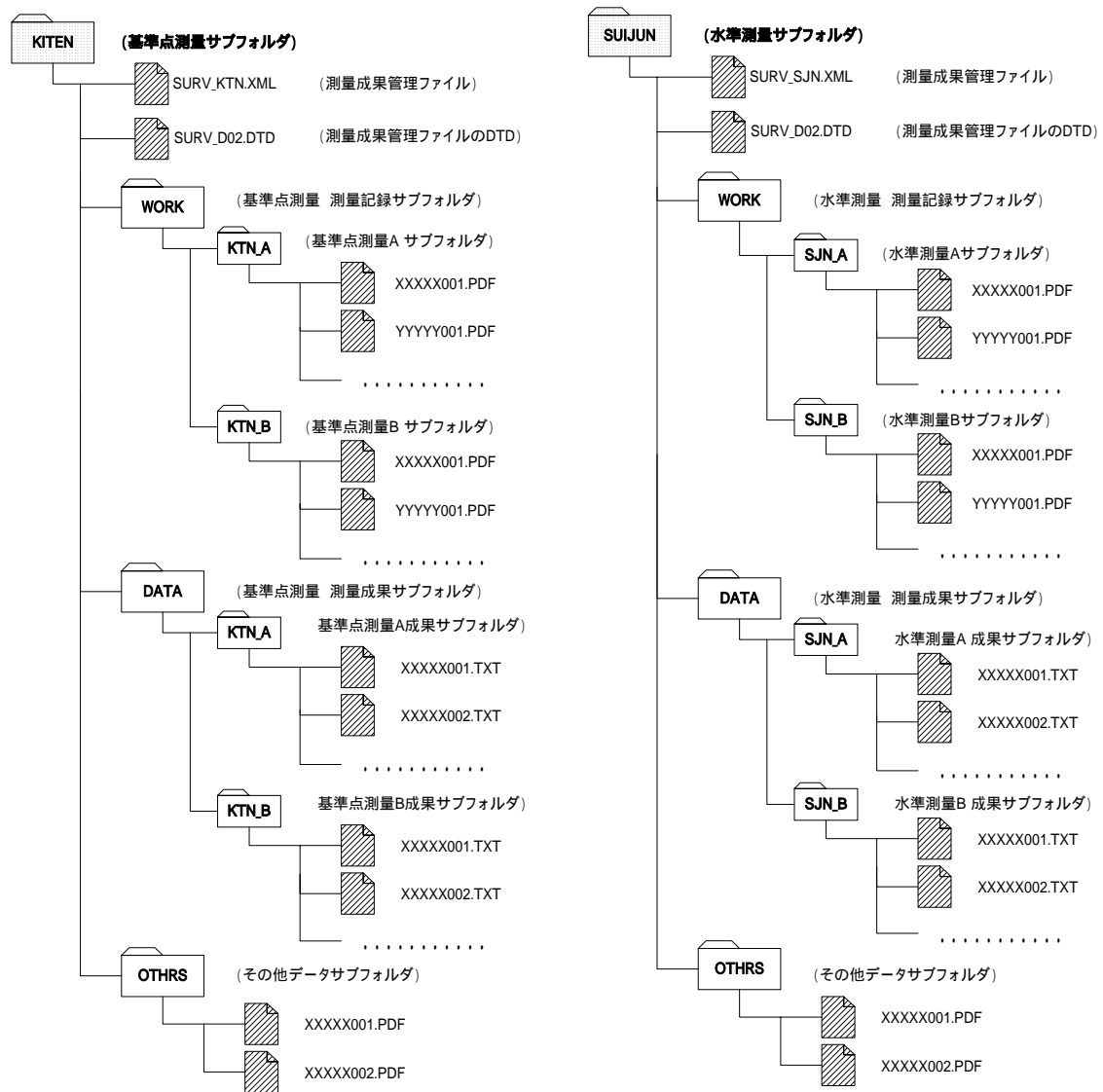


図 6-11 基準点測量、水準測量サブフォルダ構成

表 6-10 基準点測量の成果種類

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則 ¹⁹	格納フォルダ名 ¹⁹	備考
測量細分類	成果等の名称				
基準点測量	成果表	PDF	KJ*A1nnn.PDF	/KITEN/DATA/KTN_*	
	成果表 (数値データ)	TXT	KJ*A2nnn.TXT	/KITEN/DATA/KTN_*	
	基準点網図データインデックスファイル	拡張 DM	KJ*F4nnn.DMI	/KITEN/WORK/KTN_*	協議により PDF、CAD、オリジナル形式も可
	基準点網図	拡張 DM	KJ*F1nnn.DM	/KITEN/WORK/KTN_*	
	基準点網図データファイル説明書	PDF	KJ*F5nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	平均図データインデックスファイル	拡張 DM	KJ*F6nnn.DMI	/KITEN/WORK/KTN_*	協議により PDF、CAD、オリジナル形式も可
	平均図	拡張 DM	KJ*F2nnn.DM	/KITEN/WORK/KTN_*	
	平均図データファイル説明書	PDF	KJ*F7nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	観測図データインデックスファイル	拡張 DM	KJ*F8nnn.DMI	/KITEN/WORK/KTN_*	協議により PDF、CAD、オリジナル形式も可
	観測図	拡張 DM	KJ*F3nnn.DM	/KITEN/WORK/KTN_*	
	観測図データファイル説明書	PDF	KJ*F9nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	観測手簿	PDF	KJ*D1nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	KJ*D2nnn.XXX	/KITEN/WORK/KTN_*	
	観測記簿	PDF	KJ*D3nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	観測記簿(数値データ)	オリジナル	KJ*D6nnn.XXX	/KITEN/WORK/KTN_*	観測結果ファイルを格納
	計算簿	PDF	KJ*E1nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	KJ*E2nnn.XXX	/KITEN/WORK/KTN_*	平均計算データファイルを格納
	点の記	PDF	KJ*C1nnn.PDF	/KITEN/DATA/KTN_*	
	点の記(数値データ)	オリジナル	KJ*C2nnn.XXX	/KITEN/DATA/KTN_*	
	建標承諾書	(対象外)	-	-	
精度管理表	PDF	KJ*G1nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*		
点検測量簿	PDF	KJ*D4nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*		
埋標手簿	PDF	KJ*D5nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*		
測量標の地上写真	PDF	KJ*H2nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	協議によりオリジナル形式も可	

6 電子成果品の作成

6.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則 ¹⁹	格納フォルダ名 ¹⁹	備考
測量細分類	成果等の名称				
	測量標設置位置 通知書	(対象外)	-	-	
	基準点現況調査 報告書	PDF	KJ*H1nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
その他	測量機器検定証 明書	PDF	K0TJ1nnn.PDF	/KITEN/OTHR	
	GPS 観測スケジ ュール表	PDF	K0TJ2nnn.PDF	/KITEN/OTHR	
	衛星配置図	PDF	K0TJ4nnn.PDF	/KITEN/OTHR	
	GPS 基準局配置 図	PDF	K0TJ5nnn.PDF	/KITEN/OTHR	
	ファイル説明書	PDF	K0TJ3nnn.PDF	/KITEN/OTHR	
水準測量	観測成果表	PDF	SJ*A1nnn.PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	観測成果表(数 値データ)	TXT	SJ*A2nnn.TXT	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	平均成果表	PDF	SJ*A3nnn.PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	平均成果表(数 値データ)	TXT	SJ*A4nnn.TXT	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	水準路線図デー タインデックス ファイル	拡張 DM	SJ*F3nnn.DMI	/SUIJUN/WORK/SJN_*	協議により PDF、 CAD、オリジナル 形式も可
	水準路線図	拡張 DM	SJ*F1nnn.DM	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	水準路線図デー タファイル説明 書	PDF	SJ*F4nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	平均図データ インデックスフ ァイル	拡張 DM	SJ*F5nnn.DMI	/SUIJUN/WORK/SJN_*	協議により PDF、 CAD、オリジナル 形式も可
	平均図	拡張 DM	SJ*F2nnn.DM	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	平均図データフ ァイル説明書	PDF	SJ*F6nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	観測手簿	PDF	SJ*D1nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	観測手簿(数値 データ)	オリジナル	SJ*D2nnn.XXX	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	計算簿	PDF	SJ*E1nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	点の記	PDF	SJ*C1nnn.PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	点の記(数値デ ータ)	オリジナル	SJ*C2nnn.XXX	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	建標承諾書	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	SJ*G1nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	点検測量簿	PDF	SJ*D3nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	測量標の地上写 真	PDF	SJ*H2nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	協議によりオリ ジナル形式も可

6 電子成果品の作成

6.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則 ¹⁹	格納フォルダ名 ¹⁹	備考
測量細分類	成果等の名称				
	測量標設置位置 通知書	(対象外)	-	-	
	基準点現況調査 報告書	PDF	SJ*H1nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
その他	測量機器検定証 明書	PDF	S0TJ1nnn.PDF	/SUIJUN/OTHR	
	ファイル説明書	PDF	S0TJ2nnn.PDF	/SUIJUN/OTHR	

注) 網掛けは、測量要領【H16.6】では規定されていないが、測量ガイドライン
で追加した成果項目

6.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

6.3.2 基準点測量成果ファイルの作成

基準点測量の電子ファイルの作成に当たっては、次項以降に示す成果ごとの運用基準に従います。

(1) 基準点測量

表 6-11 基準点測量成果一覧

対象書類	ファイル形式	格納フォルダ名 ¹⁹	ファイル名 ¹⁹
成果表	PDF	/KITEN/DATA/KTN_*	KJ*A1nnn.PDF
成果表(数値データ)	TXT	/KITEN/DATA/KTN_*	KJ*A2nnn.TXT
基準点網図データインデックスファイル	拡張 DM	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*F4nnn.DMI
基準点網図	拡張 DM	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*F1nnn.DM
基準点網図データファイル説明書	PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*F5nnn.PDF
平均図データインデックスファイル	拡張 DM	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*F6nnn.DMI
平均図	拡張 DM	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*F2nnn.DM
平均図データファイル説明書	PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*F7nnn.PDF
観測図データインデックスファイル	拡張 DM	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*F8nnn.DMI
観測図	拡張 DM	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*F3nnn.DM
観測図データファイル説明書	PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*F9nnn.PDF
観測手簿	PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*D1nnn.PDF
観測手簿(数値データ)	オリジナル	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*D2nnn.XXX
観測記簿	PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*D3nnn.PDF
観測記簿(数値データ)	オリジナル	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*D6nnn.XXX
計算簿	PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*E1nnn.PDF
計算簿(数値データ)	オリジナル	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*E2nnn.XXX
点の記	PDF	/KITEN/DATA/KTN_*	KJ*C1nnn.PDF
点の記(数値データ)	オリジナル	/KITEN/DATA/KTN_*	KJ*C2nnn.XXX
建標承諾書	(対象外)	-	-
精度管理表	PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*G1nnn.PDF
点検測量簿	PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*D4nnn.PDF
埋標手簿	PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*D5nnn.PDF
測量標の地上写真	PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*H2nnn.PDF
測量標設置位置通知書	(対象外)	-	-
基準点現況調査報告書	PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*H1nnn.PDF
測量機器検定証明書	PDF	/KITEN/OTHS	KOTJ1nnn.PDF

6.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

対象書類	ファイル形式	格納フォルダ名 ¹⁹	ファイル名 ¹⁹
GPS 観測スケジュール表	PDF	/KITEN/OTHR	KOTJ2nnn.PDF
衛星配置図	PDF	/KITEN/OTHR	KOTJ4nnn.PDF
GPS 基準局配置図	PDF	/KITEN/OTHR	KOTJ5nnn.PDF
ファイル説明書	PDF	/KITEN/OTHR	KOTJ3nnn.PDF

【運用基準】

- ア) 成果表は、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品します。PDF 形式の成果表は、1 成果 1 ファイルの成果単位で作成します。TXT 形式のフォーマット仕様は、測量要領 付属資料 3 成果表出力フォーマットに従います。TXT 形式の成果表は、等級種別等適当な単位にまとめてファイルを作成します。
- イ) 基準点網図・平均図・観測図は、拡張 DM 形式で納品します。また、受発注者間協議により、PDF、CAD 又はオリジナル形式で納品してもかまいません。
- ウ) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。また、受発注者間協議により PDF 形式に加えて、数値データをオリジナル形式で納品してもかまいません。受発注者間協議により、ファイルは適当な単位でまとめて作成します。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成します。
- エ) 観測記簿は、PDF 形式で納品します。また、受発注者間協議により PDF 形式に加えて、数値データをオリジナル形式で納品してもかまいません。受発注者間協議により、ファイルは適当な単位でまとめて作成します。
- オ) 計算簿は、PDF 形式で納品します。また、受発注者間協議により PDF 形式に加えて、数値データをオリジナル形式で納品してもかまいません。受発注者間協議により、ファイルは適当な単位でまとめて作成します。
- カ) 点の記は、PDF 形式で納品します。また、受発注者間協議により PDF 形式に加えて、数値データをオリジナル形式で納品してもかまいません。PDF 形式の点の記は、1 成果 1 ファイルの成果単位で作成します。オリジナル形式の点の記は、受発注者間協議により適当な単位でまとめて作成します。
- キ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位に作成します。
- ク) 点検測量簿、埋標手簿及び基準点現況調査報告書は、PDF 形式で納品します。受発注者間協議により、ファイルは適当な単位でまとめて作成します。
- ケ) 測量標の地上写真は、受発注者間協議により、PDF 形式又はオリジナル形式で納品します。

6.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

- コ) 表 6-11に記載されていない測量記録、資料は、その他データサブフォルダ(/OTHR)に格納します。ファイル形式等は受発注者間協議により決定します。
- サ) ネットワーク型 RTK-GPS 測量の成果の納品は次のとおりです。
- ネットワーク型 RTK-GPS 測量の成果は、「ネットワーク型 RTK-GPS を利用する公共測量作業マニュアル(案)」で定められた仕様で作成します。
 - 各成果ファイルは、基準点測量成果の電子納品に従い作成します。
 - 観測データファイルは、観測記簿(数値データ)としてオリジナル形式で納品します。
 - 平均計算データファイルは、計算簿(数値データ)としてオリジナル形式で納品します。

【解説・補足】

- ア) 成果表(数値データ)のフォーマット仕様は、測量要領 付属資料 3 成果表出力フォーマットに示す仕様に従います。ファイルは後続作業での利用を考慮して、等級種別等適当な単位にまとめて作成します。
- イ) 基準点網図、平均図、観測図は、次の点に留意します。
- スキャナでイメージ化する場合は、「6.2.3(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - 受発注者間協議により、CAD 又はオリジナル形式で納品する場合は、「6.2.3(4) CAD 形式」、「6.2.3(5) オリジナル形式」に留意します。
 - 平均図は、計画機関監督職員が「承認する」の記入及び押印等を要することから、従来通り紙による納品を加えることが望ましいです。紙による納品の要否は、受発注者間協議により決定します。
- ウ) 観測手簿は、次の点に留意します。
- スキャナでイメージ化する場合は、「6.2.3(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - 受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、6.2.3(5) オリジナル形式」に留意します。
- エ) 観測記簿をスキャナでイメージ化する場合は、「6.2.3(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- オ) 点の記は、次の点に留意します。
- スキャナでイメージ化する場合は、「6.2.3(1)1) アナログ資料のス

6.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

キャニング」に留意します。

- 受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、6.2.3(5)オリジナル形式」に留意します。

カ) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「6.2.3(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意します。

キ) 点検測量簿、埋標手簿及び基準点現況調査報告書は、次の点に留意します。

- スキャナでイメージ化する場合は、「6.2.3(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- ファイル単位は種別ごとにまとめることを標準とし、受発注者間協議により適切なファイル単位を決定します。

ク) 測量標の地上写真は、次の点に留意します。

- デジタルカメラで撮影する場合の有効画素数は100万画素(ピクセル)程度とします。
- 35mmカメラで撮影し、写真をスキャナでイメージ化する場合も、100万画素(ピクセル)程度の解像度とします。フィルムスキャナも同程度の解像度とします。

写真、35mmフィルムをスキャナ、フィルムスキャナでイメージ化する場合の解像度と有効画素数の関係は、表6-12、表6-13を参照してください。

- 撮影対象物が容易に判別できない場合や黒板の文字が識別できない場合は、スキャナの解像度を適宜調整します。
- オリジナル形式で納品する場合は、ワープロ又は表計算ソフトからファイルを作成することを標準とし、受発注者間協議により適切なフォーマットを決定します。

ケ) 「対象外」とされている成果は、原則として従来通り紙による納品を行います。ただし、受発注者間協議によりこれら成果を電子納品する場合には、次の点に留意します。

- 受発注者間協議により、ファイル形式、ファイル名を決定します。
- ファイル名は、「6.2.4 ファイル命名規則」に準拠します。

コ) その他のデータは、「(3) その他」を参照します。

表 6-12 スキャナ解像度(dpi)と有効画素数の関係の例(写真の場合)

写真サイズ 名称	寸法(mm)		寸法(インチ)		スキャナ 解像度	有効画素数		
	縦	横	縦	横		縦	横	縦×横
E	82.5	117.0	3.25	4.61	150	487	691	336,632
					200	650	921	598,456
					250	812	1,152	935,088
					300	974	1,382	1,346,526
					350	1,137	1,612	1,832,772
					400	1,299	1,843	2,393,825
L	89.0	127.0	3.50	5.00	150	526	750	394,193
					200	701	1,000	700,787
					250	876	1,250	1,094,980
					300	1,051	1,500	1,576,772
					350	1,226	1,750	2,146,161
					400	1,402	2,000	2,803,150
KG	102.0	152.0	4.02	5.98	150	602	898	540,703
					200	803	1,197	961,250
					250	1,004	1,496	1,501,953
					300	1,205	1,795	2,162,812
					350	1,406	2,094	2,943,828
					400	1,606	2,394	3,845,000
2L	127.0	178.0	5.00	7.01	150	750	1,051	788,386
					200	1,000	1,402	1,401,575
					250	1,250	1,752	2,189,961
					300	1,500	2,102	3,153,543
					350	1,750	2,453	4,292,323
					400	2,000	2,803	5,606,299

注) プリントサイズの名称、寸法等はメーカー等により異なる可能性があるため、
大体の目安としてください。

表 6-13 スキャナ解像度(dpi)と有効画素数の関係の例(35mm フィルムの場合)

フィルム 名称	寸法(mm)		寸法(インチ)		スキャナ 解像度	有効画素数		
	縦	横	縦	横		縦	横	縦×横
35mmフィルム	24.0	36.0	0.94	1.42	600	567	850	482,113
					900	850	1,276	1,084,754
					1,200	1,134	1,701	1,928,452
					1,500	1,417	2,126	3,013,206
					1,800	1,701	2,551	4,339,017

6.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

(2) 水準測量

表 6-14 水準測量成果一覧

対象書類	ファイル形式	格納フォルダ名 ¹⁹	ファイル名 ¹⁹
観測成果表	PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	SJ*A1nnn.PDF
観測成果表(数値データ)	TXT	/SUIJUN/DATA/SJN_*	SJ*A2nnn.TXT
平均成果表	PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	SJ*A3nnn.PDF
平均成果表(数値データ)	TXT	/SUIJUN/DATA/SJN_*	SJ*A4nnn.TXT
水準路線図データインデックスファイル	拡張 DM	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*F3nnn.DMI
水準路線図	拡張 DM	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*F1nnn.DM
水準路線図データファイル説明書	PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*F4nnn.PDF
平均図データインデックスファイル	拡張 DM	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*F5nnn.DMI
平均図	拡張 DM	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*F2nnn.DM
平均図データファイル説明書	PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*F6nnn.PDF
観測手簿	PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*D1nnn.PDF
観測手簿(数値データ)	オリジナル	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*D2nnn.XXX
計算簿	PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*E1nnn.PDF
点の記	PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	SJ*C1nnn.PDF
点の記(数値データ)	オリジナル	/SUIJUN/DATA/SJN_*	SJ*C2nnn.XXX
建標承諾書	(対象外)	-	-
精度管理表	PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*G1nnn.PDF
点検測量簿	PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*D3nnn.PDF
測量標の地上写真	PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*H2nnn.PDF
測量標設置位置通知書	(対象外)	-	-
基準点現況調査報告書	PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*H1nnn.PDF
測量機器検定証明書	PDF	/SUIJUN/OTHS	SOTJ1nnn.PDF
ファイル説明書	PDF	/SUIJUN/OTHS	SOTJ2nnn.PDF

【運用基準】

- ア) 成果表は、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品します。
TXT 形式のフォーマット仕様は、測量要領 付属資料 3 成果表出力フォーマットに従います。成果表及び成果表(数値データ)は、適当な単位にまとめてファイルを作成します。
- イ) 水準路線図、平均図は、拡張 DM 形式で納品します。また、受発注者間協議により、PDF、CAD 又はオリジナル形式で納品してもかまいません。
- ウ) 観測手簿は、PDF 形式で納品します。また、受発注者間協議により PDF 形式に加えて、数値データをオリジナル形式で納品してもかまいません。ファ

6.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

イルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。

エ) 計算簿は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。

オ) 点の記は、PDF 形式で納品します。また、受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品してもかまいません。

PDF 形式の点の記は、1 成果 1 ファイルの成果単位で作成します。

オリジナル形式の点の記は、受発注者間協議により適当な単位でまとめて作成します。

カ) 精度管理表は、PDF 形式で納品します。ファイルは、種別単位で作成します。

キ) 点検測量簿及び基準点現況調査報告書は、PDF 形式で納品します。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成します。

ク) 測量標の地上写真は、受発注者間協議により、PDF 形式又はオリジナル形式で納品します。

【解説・補足】

ア) 成果表（数値データ）のフォーマット仕様は、測量要領 付属資料 3 成果表出力フォーマットに示す仕様に従います。ファイルは後続作業での利用を考慮して、等級種別等適当な単位にまとめて作成します。

イ) 水準路線図、観測図は、次の点に留意します。

- スキャナでイメージ化する場合は、「6.2.3(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- ファイルは図単位又は図の種別単位で作成します。
- 受発注者間協議により、CAD 又はオリジナル形式で納品する場合は、「6.2.3(4) CAD 形式」、「6.2.3(5) オリジナル形式」に留意します。

ウ) 観測手簿は、次の点に留意します。

- スキャナでイメージ化する場合は、「6.2.3(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- 受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、「6.2.3(5) オリジナル形式」に留意します。

エ) 観測記簿をスキャナでイメージ化する場合は、「6.2.3(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意します。

オ) 点の記は、次の点に留意します。

- スキャナでイメージ化する場合には、「6.2.3(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意します。

6.3 基準点測量成果作成【SURVEY/KITEN】

- 受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式で納品する場合は、6.2.3(5)「オリジナル形式」に留意します。
- カ) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合は、「6.2.3(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- キ) 点検測量簿及び基準点現況調査報告書は、次の点に留意します。
- スキャナでイメージ化する場合は、「6.2.3(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意します。
 - ファイル単位は種別ごとにまとめることを標準とし、受発注者間協議により適切なファイル単位を決定します。
- ク) 測量標の地上写真は、次の点に留意します。
- デジタルカメラで撮影する場合の有効画素数は100万画素(ピクセル)程度とします。
 - 35mmカメラで撮影し、写真をスキャナでイメージ化する場合も、100万画素(ピクセル)程度の解像度とします。フィルムスキャナも同程度の解像度とします。
写真、35mmフィルムをスキャナ、フィルムスキャナでイメージ化する場合の解像度と有効画素数の関係は、表6-12、表6-13を参照してください。
 - 撮影対象物が容易に判別できない場合や黒板の文字が識別できない場合は、スキャナの解像度を適宜調整します。
 - オリジナル形式で納品する場合は、ワープロ又は表計算ソフトからファイルを作成することを標準とし、受発注者間協議により適切なフォーマットを決定します。
- ケ) 「対象外」とされている成果は、原則として従来通り紙による納品を行います。ただし、受発注者間協議によりこれら成果を電子納品する場合には、次の点に留意します。
- 受発注者間協議により、ファイル形式、ファイル名を決定します。
 - ファイル名は、「6.2.4 ファイル命名規則」に準拠します。
- コ) その他のデータは、「(3) その他」を参照します。

(3) その他

表 6-15 その他成果一覧

測量細分類	対象書類	ファイル形式	格納フォルダ名	ファイル名
基準点 測量 その他	測量機器検定証明書	PDF	/KITEN/OTHR	KOTJ1nnn.PDF
	GPS 観測スケジュール表	PDF	/KITEN/OTHR	KOTJ2nnn.PDF
	衛星配置図	PDF	/KITEN/OTHR	KOTJ4nnn.PDF
	GPS 基準局配置図	PDF	/KITEN/OTHR	KOTJ5nnn.PDF
	ファイル説明書	PDF	/KITEN/OTHR	KOTJ3nnn.PDF
水準 測量 その他	測量機器検定証明書	PDF	/SUIJUN/OTHR	SOTJ1nnn.PDF
	ファイル説明書	PDF	/SUIJUN/OTHR	SOTJ2nnn.PDF

【運用基準】

- ア) 測量機器検定証明書、ファイル説明書は、PDF 形式で納品します。
- イ) GPS 基準局配置図は、PDF 形式で納品します。GPS 基準局配置図は図形式ではなく、利用した基準局番号を示したドキュメントで納品してもかまいません。
- ウ) オリジナル又は拡張したファイル等については、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書を作成し、その他データサブフォルダ（/OTHR）に格納して納品します。
- エ) 表 6-10に記載されていない測量記録、資料は、その他データサブフォルダ（/OTHR）に格納します。ファイル形式等は、受発注者間協議により決定します。

【解説・補足】

- ア) 測量機器検定証明書、ファイル説明書等をスキャナでイメージ化する場合は、「6.2.3(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意します。
- イ) 受発注者間協議により、数値データをオリジナル形式等で納品する場合は、レコードフォーマット、ファイル単位及び利用方法を説明したファイル説明書（PDF 形式）を作成し、その他データサブフォルダ（/OTHR）に格納します。
- ウ) 表 6-10に記載されていない測量記録及び資料等を納品する場合、次の点に留意します。
- ファイル単位は、受発注者間協議により決定します。
 - 受発注者間協議により電子化しないものは、紙のまま納品します。